



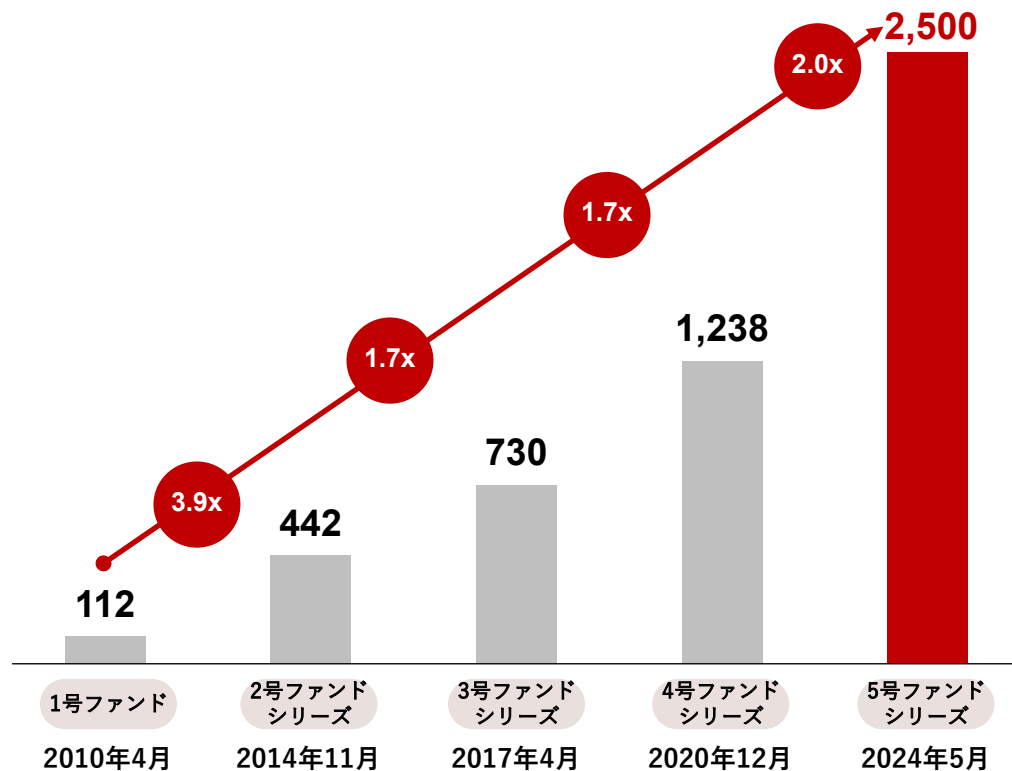
# FY2025Q3 決算プレゼンテーション

インテグラル株式会社

2025年11月

# 日本型プライベートエクイティファンドの リーディングカンパニー

(億円)



グロスMOIC<sup>1</sup>

3.0x

グロスIRR<sup>1</sup>

31.1%

FE-AUM

3,744億円

投資  
プロフェッショナル

70人/108人

1. 投資期間中である5号ファンドシリーズを除く、1号ファンド、2号ファンドシリーズ、3号ファンドシリーズ、4号ファンドシリーズのグロスMOIC、グロスIRRの単純平均（1号ファンドはファンド清算時、2号ファンドシリーズ、3号ファンドシリーズ、4号ファンドシリーズは2025年9月末時点）

# 日本の中堅企業に注力しながら、 これまでに投資した事業価値（EV）累計は7,000億円超

1号



封入封緘機 大手



世界的バリコレブランド

SHICATA CO.

女性靴OEM 大手



TVCN制作 大手



住宅賃貸斡旋 大手



光部品市場グローバルニッチ

2号



高集客居酒屋チェーン



くさび型足場製造 大手



低価格帯ネイルサロン 大手



低価格帯カット国内最大手



第3極最大手キャリア



世界最大級のクロマグロ養殖場運営



レディースアパレル 大手



毛髪関連事業 大手



車載用サーミスタ業界 大手

3号



ダイレクトマーケティング事業運営



IT/RPAの専門家集団



肥料/アンモニア化学プラントEPC 大手



独立系肥料メーカー 大手



サンデン・リテールシステム株式会社  
自販機・冷蔵ショーケース 大手



ベルトコンベア部品 大手・ロボットSler



DX/IoTの専門家集団



カラーコンタクト企画販売 大手



プライダルリング 大手

4号



フォト関連市場 大手



業務用木製家具 大手



半導体用フォトマスク 大手



投資用アパート販売 国内 大手



オフィスコーヒースerviceパイオニア



精密加工技術グローバルニッチ



国内最大規模のIT人材事業者



国内最大の動物病院グループ



大型高層ビル用の鉄骨ファブリケーター



アートのパイオニア

5号

旭化成メディカル株式会社

血液浄化関連製品の開発・製造・販売



インターネットによる総合ゴルフサービスの提供



DX化を推進するソリューションプロバイダー

# 投資・Exit状況

2025年10月末時点

	投資先	企業概要	ファンド	プリンシパル
I		封入封緘機メーカー	Exit	Exit
		世界的パリコレブランド	Exit	投資中
	SHICATA co.	女性靴OEM	Exit	Exit
		TVCM制作事業	Exit	-
		住宅賃貸斡旋	Exit	-
II		光部品市場グローバルニッチ企業	Exit	Exit
		マルチブランド、高集客居酒屋チェーン	Exit	-
		くさび形足場の製造・販売	Exit	-
		低価格帯ネイルサロン	Exit	Exit
		低価格帯カット事業	Exit	投資中
		第3極最大手キャリア	Exit	Exit
		世界最大級のクロマグロ養殖場	Exit	-
		大手レディースアパレル	Exit	投資中
		ウィッグ等の毛髪関連事業	投資中	-
		車載用サーミスタ製造	Exit	Exit
III		ダイレクトマーケティング事業	部分Exit	投資中
		RPAを中心としたITプロ集団	Exit	Exit
		肥料/エチレンプラントの開発	投資中	投資中
		独立系肥料メーカー	Exit	Exit

	投資先	企業概要	ファンド	プリンシパル
III		自販機・冷蔵ショーケース製造・販売 サンデンリチアルシステム株式会社	投資中	投資中
		ベルトコンベア部品製造・販売	Exit	投資中
		システムインテグレーター	部分Exit	部分Exit
	T-Garden	カラーコンタクト企画販売	Exit	Exit
		ブライダルリング事業	部分Exit	投資中
IV		新品・中古カメラの小売	投資中	投資中
		インテリア・コンラクト家具の企画・製造	投資中	投資中
		半導体用フォトマスクの製造及び販売	部分Exit	投資中
		投資用アパートの開発・販売	投資中	投資中
		オフィスコーヒーサービス事業	投資中	投資中
		精密機器の製造及び販売	投資中	投資中
		ソフトウェア関連事業	投資中	投資中
		動物病院グループ	投資中	投資中
		大型高層ビル用の鉄骨ファブリケーター	投資中	投資中
		キャラクター玩具の企画・開発・販売企業	投資中	投資中
V		血液浄化関連製品の開発・製造・販売	投資中	投資中
		インターネットによる総合ゴルフサービスの提供	投資中	投資中
		DX化を推進するソリューションプロバイダー	投資中	投資中

## 本日のアジェンダ

1. 2025年3Qの実績
2. 収益の3本柱について

Appendix

1

2025年3Qの実績

# 投資・Exitともにアクティブ

1Q

2Q



旭化成メディカル  
株式会社



4号投資

5号投資

3号回収

5号投資

2025年1月

2025年4月

2025年6月

2025年6月

日本有数の鉄骨ファブリ  
ケーターへの資本参加

旭化成メディカルの  
血液浄化事業に資本参加

スタンダード市場上場  
に伴う売出し

ゴルフダイジェスト・オ  
ンラインへの公開買付け  
(7月3日に完了)

3Q以降



4号追加投資

4号追加投資

4号投資

5号投資

4号回収

2025年8月

2025年8月

2025年10月

2025年10月

2025年10月

Japan Animal Care  
HDによる長谷川動物  
病院への資本参加

E2ケアホールディングス  
の株式取得

メディコム・トイ  
への資本参加

















エクストリンクホール  
ディングスへの資本参加

プライム市場上場  
に伴う売出し



# 不動産投資もアクティブ

インテグラル・リアルエステート・ファンド1号による物件取得総額は300億円を超過

R-1. 東京目黒	R-2. 東京洗足	R-3. 名古屋泉	R-4. 千葉行徳I	R-5. 千葉行徳II	R-6. 千葉行徳III	R-7. 千葉行徳IV
						
R-8. 仙台長町	R-9. 東京北参道	R-10. 東京市谷	R-11. 福岡博多	R-12. 福岡天神	R-13. 大阪南堀江I	R-14. 大阪南堀江II
						
R-15. 大阪南堀江III	R-16. 東京代々木	R-17. 東京代々木II	R-18. 東京代々木上原	O-1. 東京新大塚	H-1. 福岡博多	H-2. 東京新橋
						



# 多様なバリューアッド戦略で不動産価値を向上へ

バリューアッド戦略はリノベーションやコンバージョンなど多種多様

ホテルコンバージョン



住宅リノベーション（専有部）



住宅リノベーション（共用部）

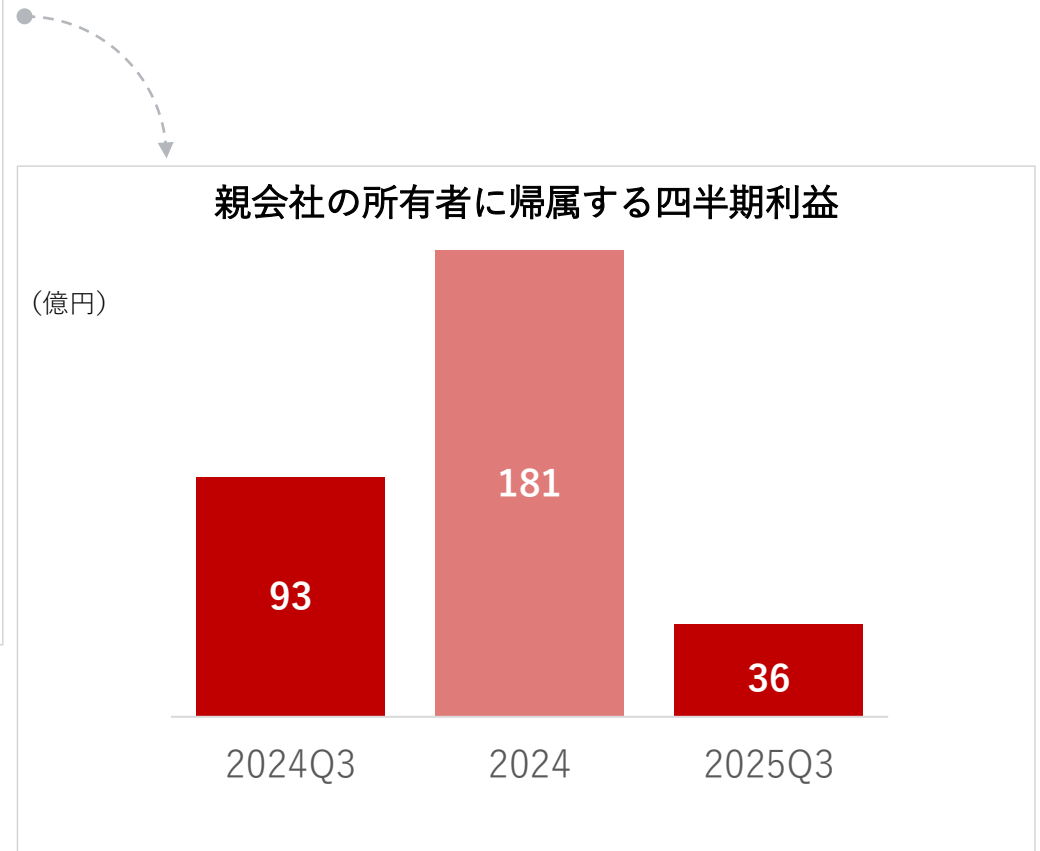
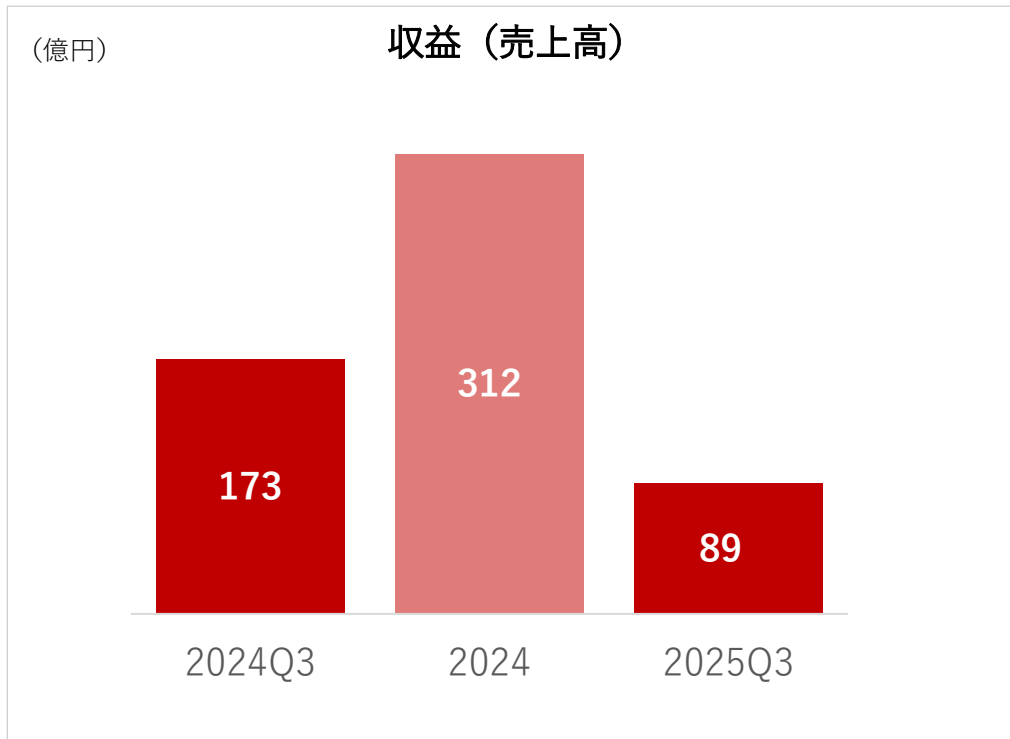


オフィスリノベーション



## 収益・利益の推移

主に公正価値減少による影響で収益・利益は前期比で減少（詳細は次項）



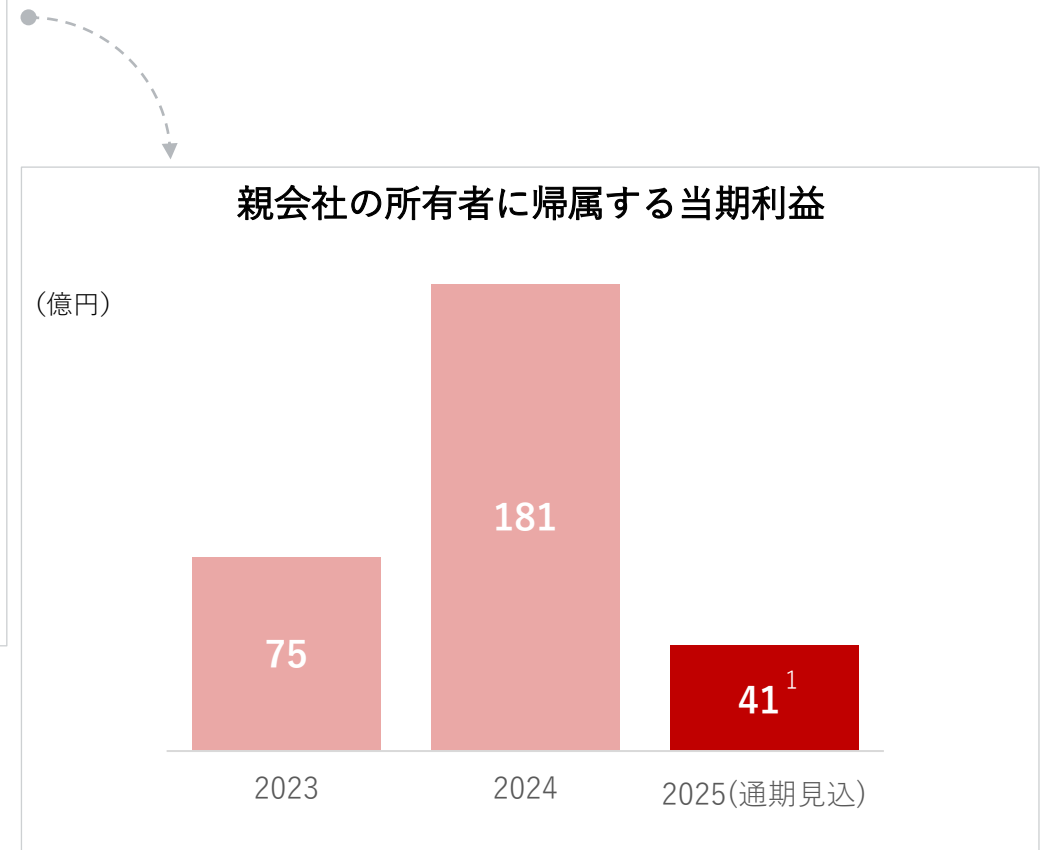
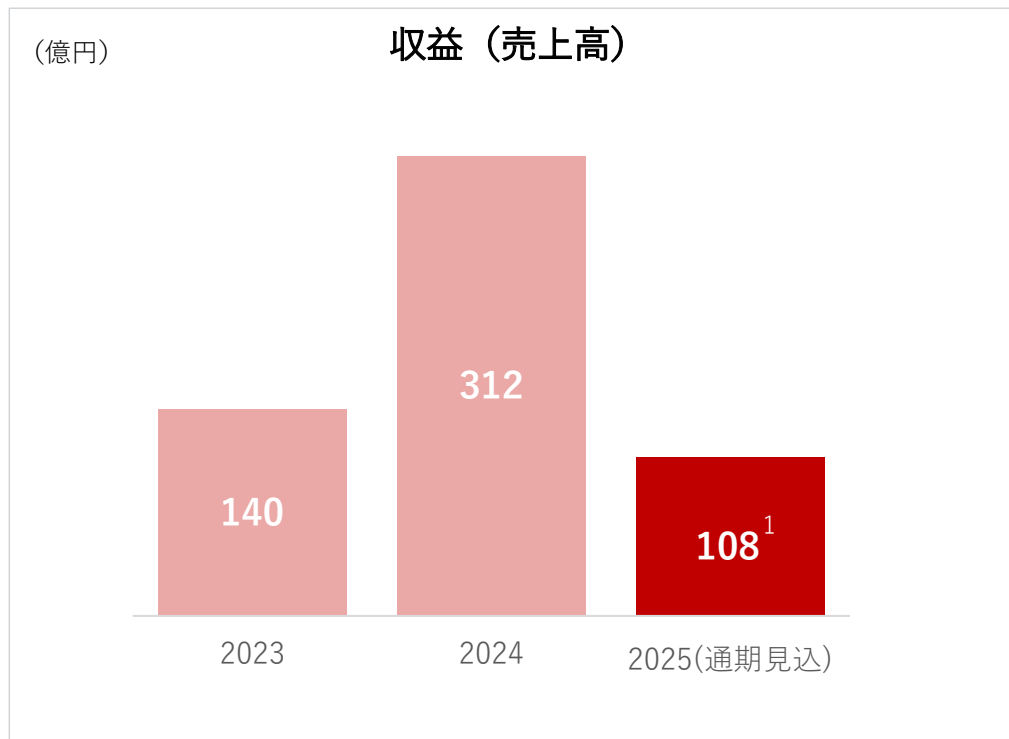
# 収益・利益の主な変動要因

(億円)

		2024Q3	2025Q3	YoY	増減・発生要因
収益	投資収益総額 (公正価値変動等)	76	17	△58	<ul style="list-style-type: none"> <li>投資収益総額は、主に公正価値変動によるもの</li> <li><u>各期の公正価値増加の要因</u> 2024Q3：非上場先の業績・バランスシート改善による評価増 2025Q3：上場投資先は株価上昇による評価増。非上場投資先は、一部プリンシパル投資先で業績一巡した先もあるものの、他の投資先のバランスシート改善・評価手法変更等により全体として評価増</li> </ul>
	リカーリング	28	58	+29	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年1月より、5号ファンドシリーズからの管理報酬受領が開始したことで、前期比増加</li> </ul>
	実現CI	69	13	△55	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>各期のCI発生要因</u> 2024Q3：2号・3号ファンドシリーズ（豆蔵K2TOPHDの一部Exit及びそれ以前の投資先）のExitに基づくCI 2025Q3：プリモグローバルHDの一部Exitに基づくCI</li> </ul>
	合計	173	89	△84	
親会社の所有者に 帰属する 四半期利益		93	36*	△56	<ul style="list-style-type: none"> <li>減益要因は、主に上述の収益減少によるもの</li> <li>費用面は、営業費用にて2025Q3で積極的な投資プロフェッショナルの採用等による人件費増加はあったが、2024Q3は5号ファンドシリーズのファンドレイズ費用が発生していたため、前期比約8億円減少</li> </ul>

# 2025年12月期収益・利益の見込み (Q4公正価値変動の影響を除く)

2025Q3と同要因により、減収減益での着地見込みだが、  
前期比大幅に増加した管理報酬は4Qも着実に寄与



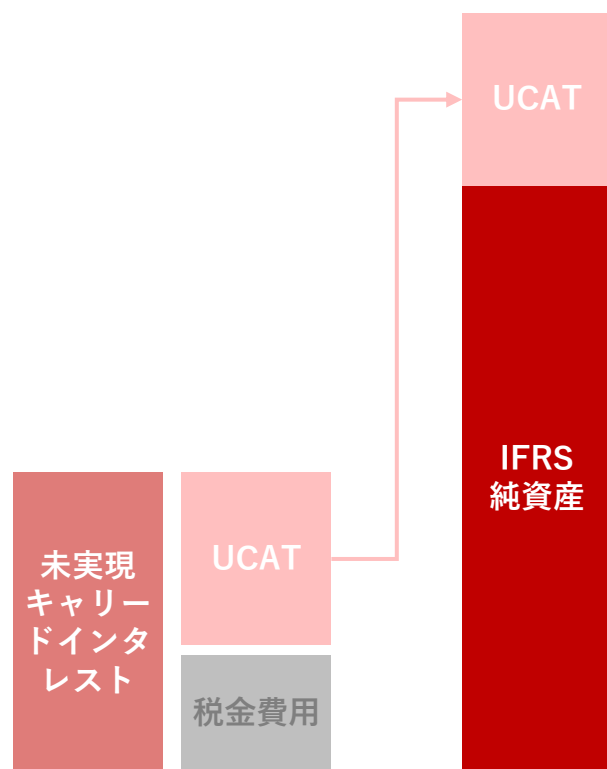
1. 2025年12月期の通期見込は、リカーリング収益及び営業費用は2025年12月期第3四半期決算短信にて開示した見込数値（受取管理報酬7,430百万円、経営支援料286百万円及び営業費用4,415百万円）、その他の収益・金融収益・金融費用は第3四半期累計期間の数値、税金費用は前述のリカーリング収益及び営業費用に基づいて第4四半期に見込まれる想定税額を第3四半期累計期間の数値に加算した数値により作成

# 経済収益ベース純資産の着実な成長を目指す

## フレームワーク

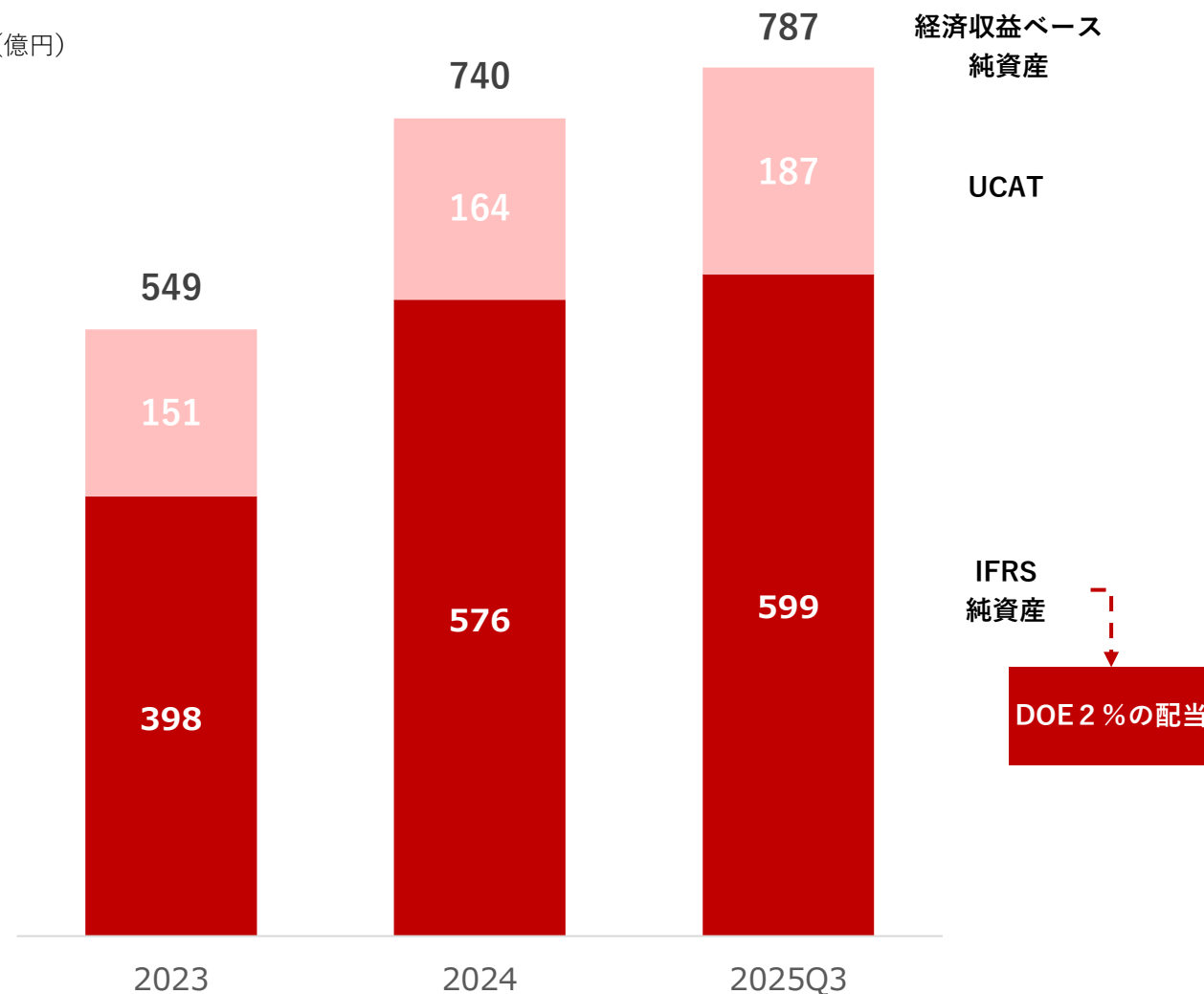
UCAT : 未実現キャリー  
インタレスト (税引後) <sup>(1)</sup>

経済収益  
ベース純資産 <sup>(2)</sup>



## 経済収益ベース純資産

(億円)



2

収益の3本柱について



# 収益の3本柱

1

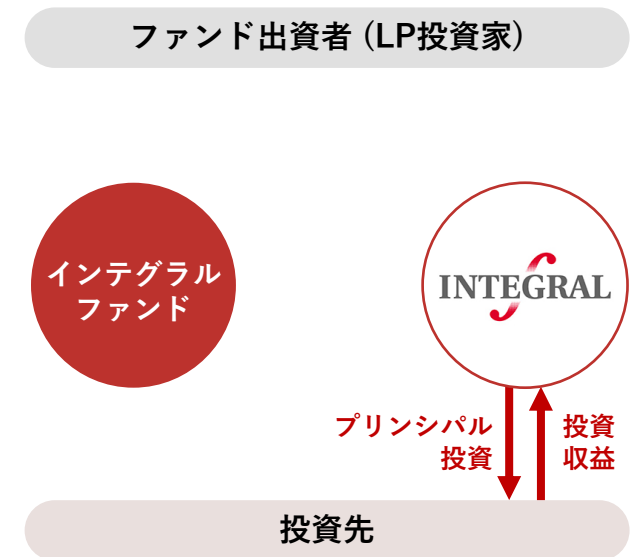
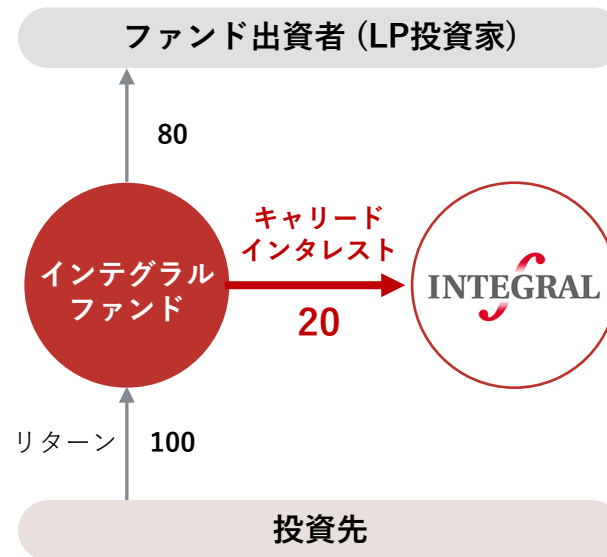
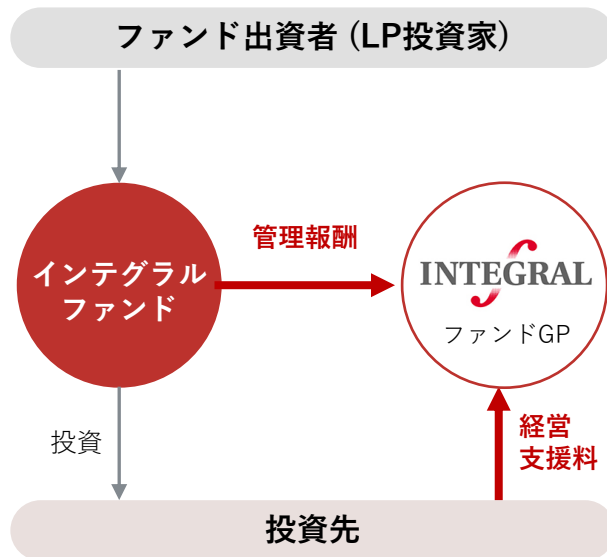
複数ファンドのFE AUMから  
一定割合の管理報酬を  
毎四半期毎に受領

2

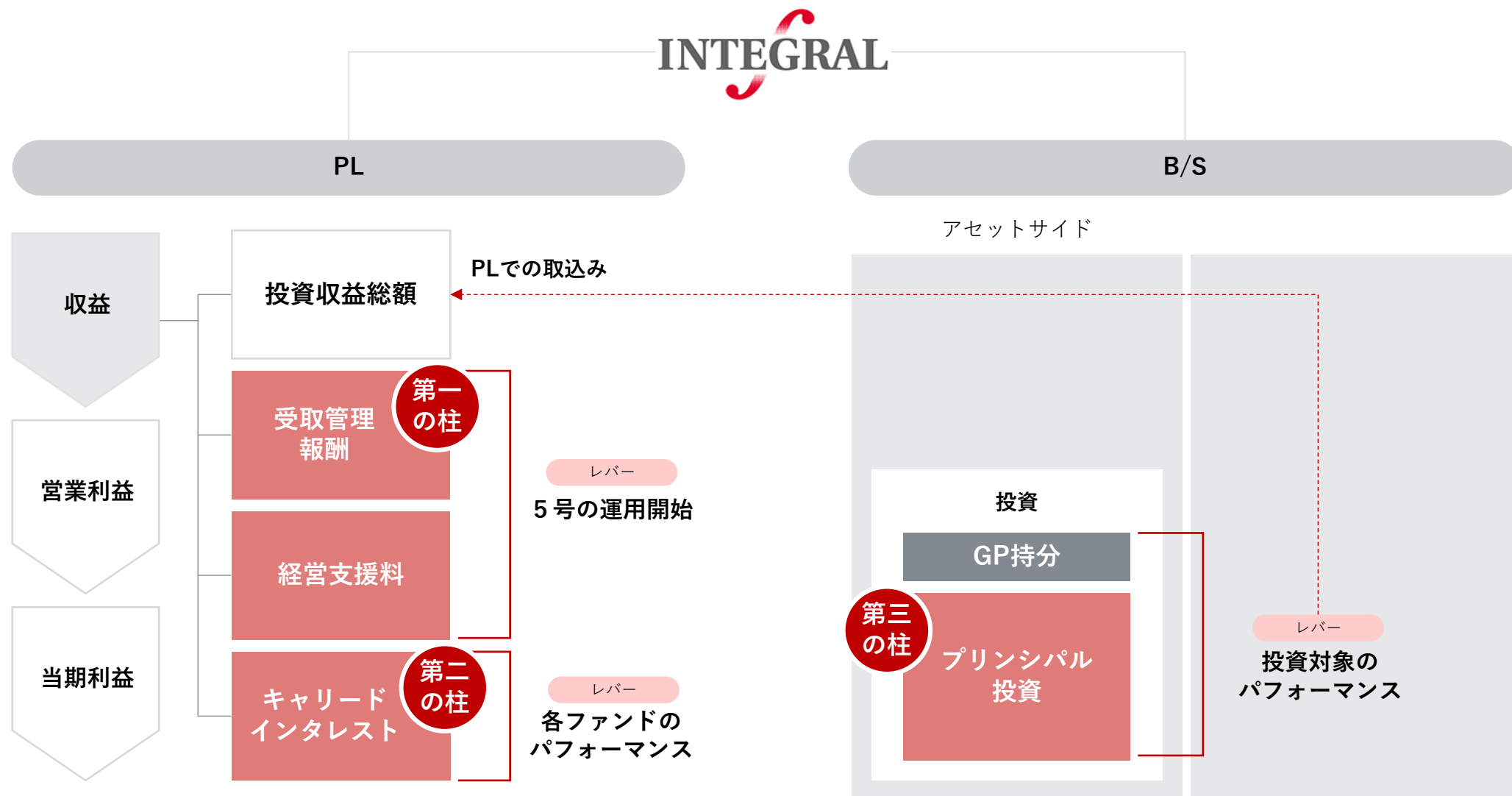
リターンの一定割合を受領

3

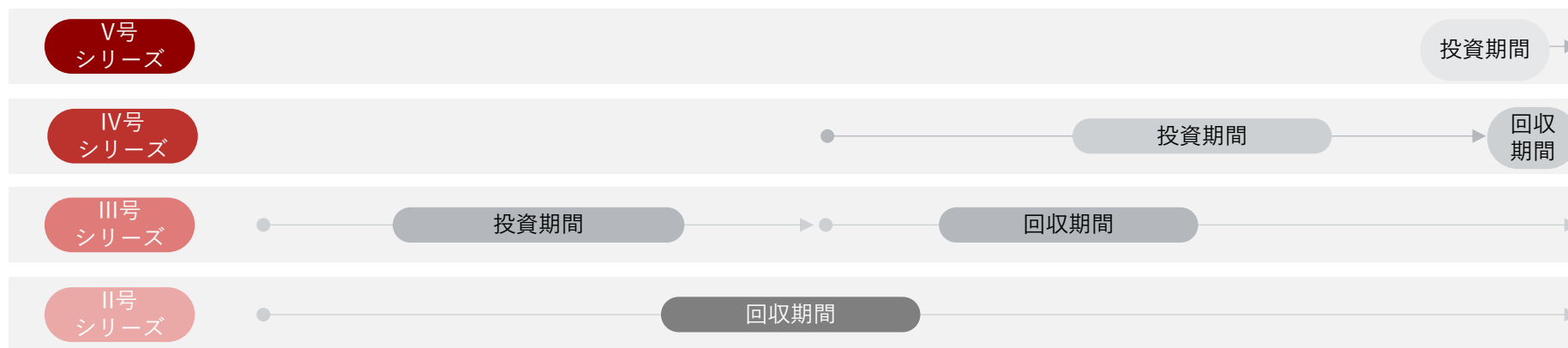
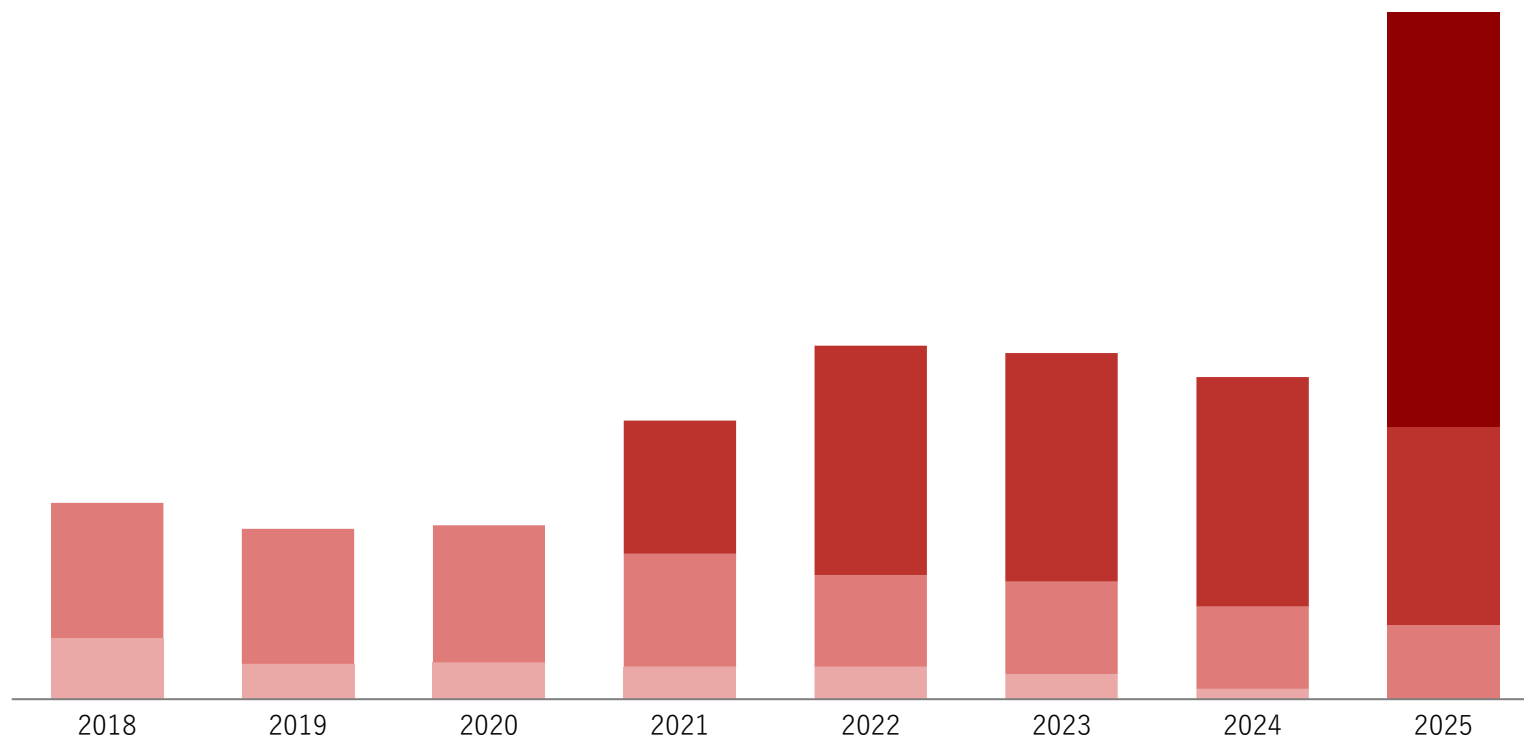
ファンド投資と自己資金を同時に出資。  
インテグラルだけが提供する競争優位性



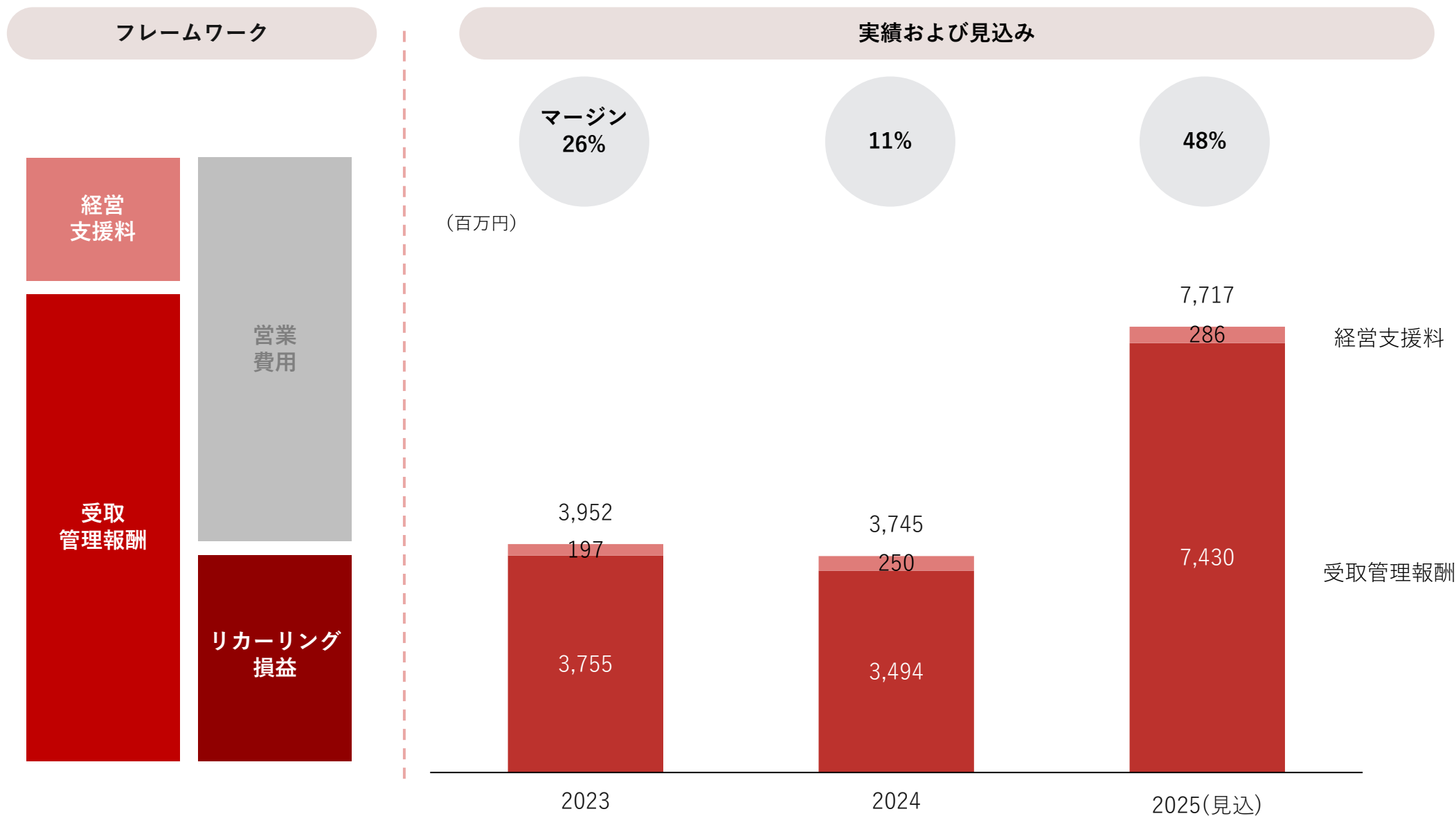
# 3本柱によるユニークな価値創造モデル



# 第一の柱① 管理報酬は積み重ねへ

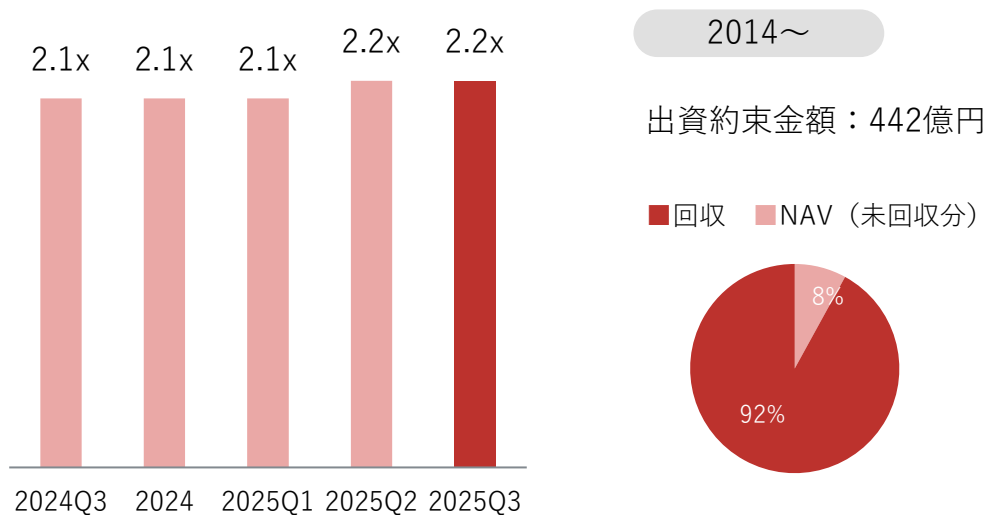


# 第一の柱② 良好なリカーリングマージン

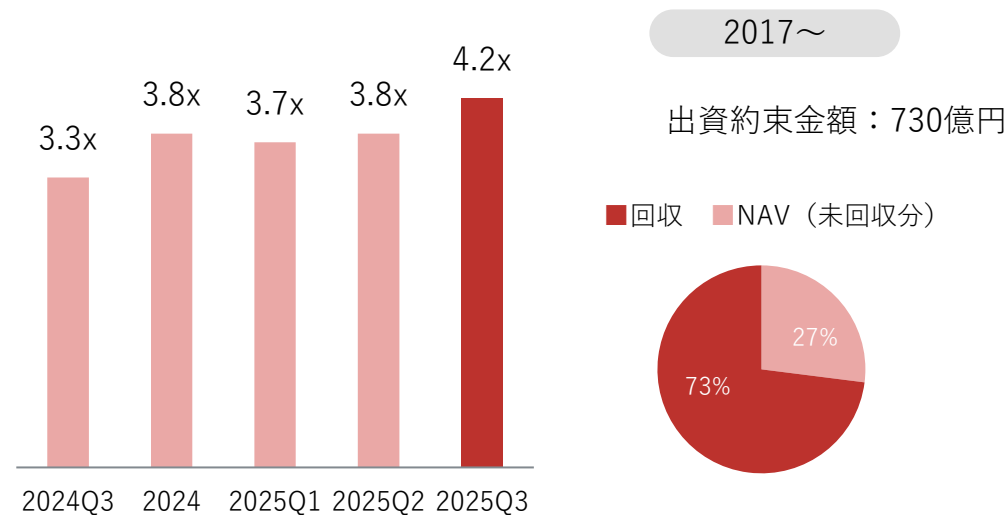


# 第二の柱① 堅実なファンドパフォーマンス

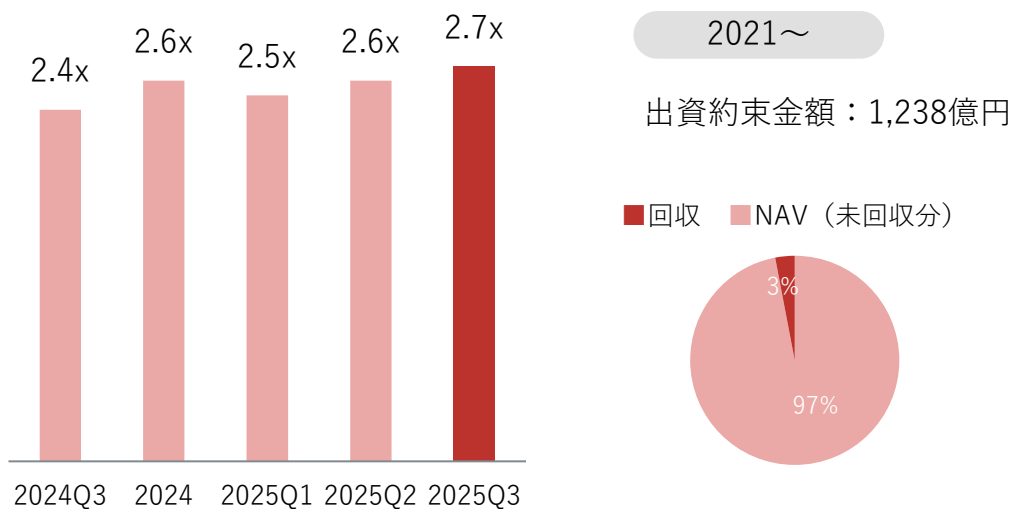
## 2号ファンドシリーズ



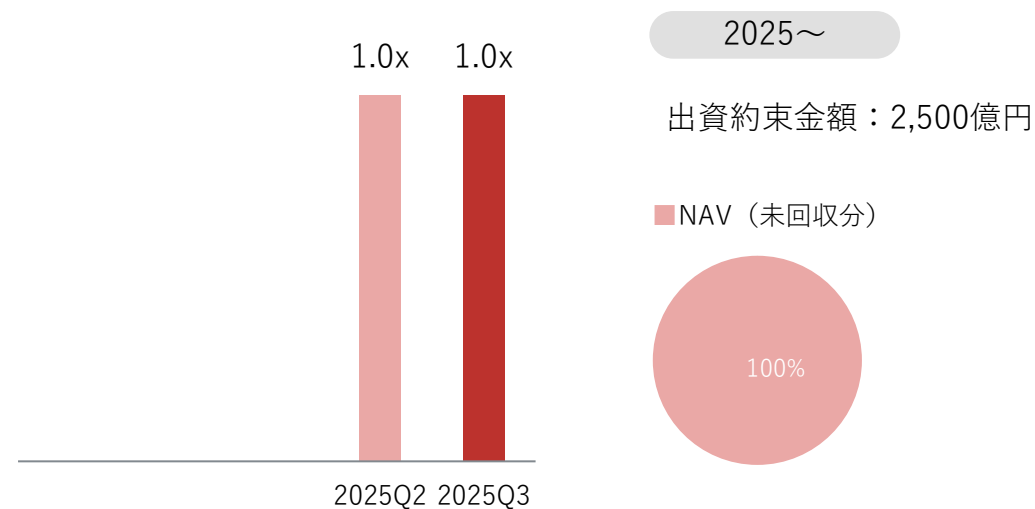
## 3号ファンドシリーズ



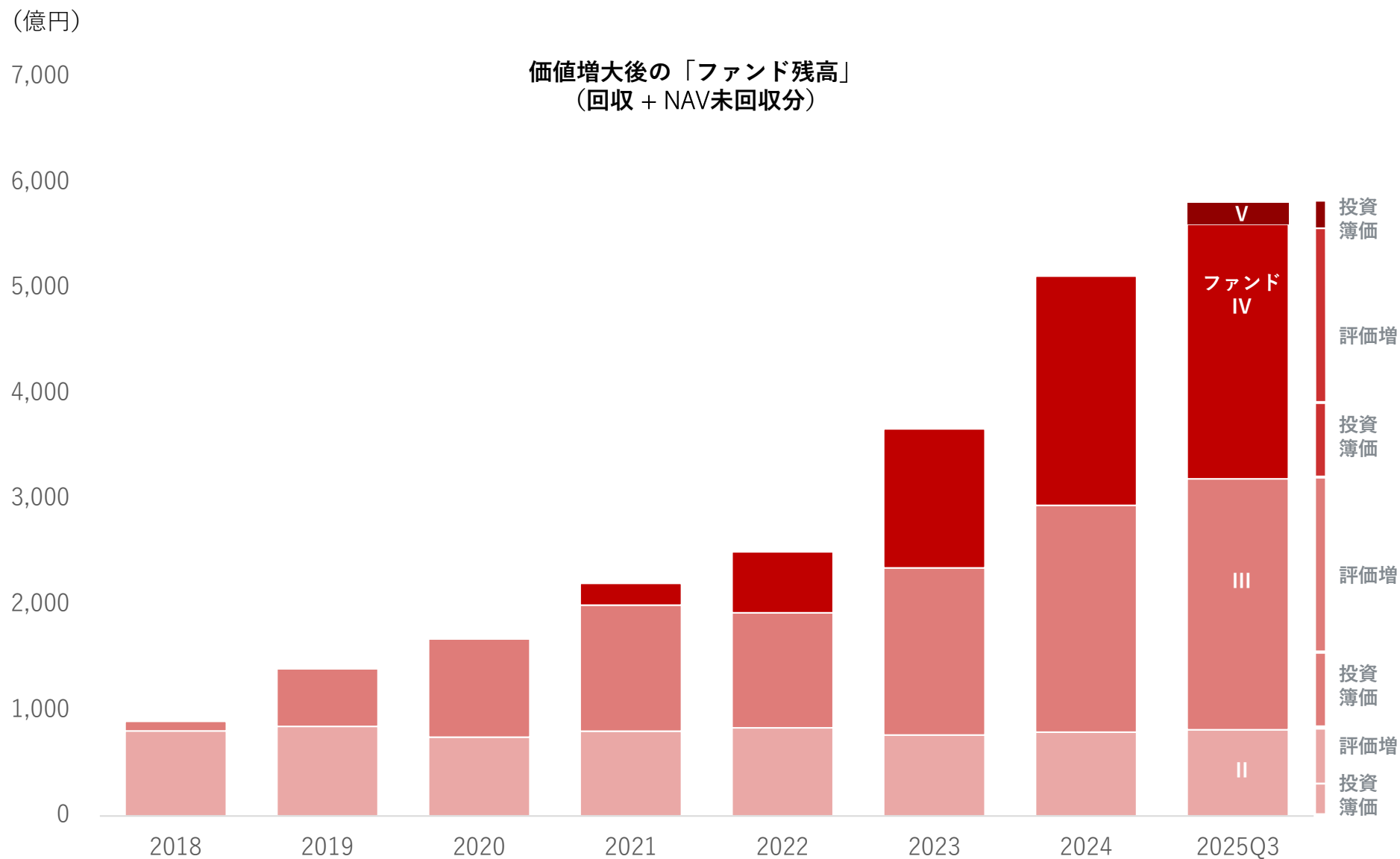
## 4号ファンドシリーズ



## 5号ファンドシリーズ



## 第二の柱② キャリートインタレストの源泉





## 第二の柱③

「投資先繁栄」をまず第一に大切にし、結果としてリターンに

ストック残高がどれだけ成長しているか

「ファンド残高」が  
価値増大している

源泉

「キャリドインタレスト」が  
増大している

源泉

ストックからフローに

キャリドインタレスト  
の将来の実現額を予想可能

価値増大後の「ファンド残高」  
= 回収 + 残存FV(フェアバリュー)

約5,100  
億円

約5,600  
億円

増大  
ドライバー  
= IV & V号

2024

2025Q3

今後

源泉

「キャリドインタレスト」が増大

436億円

未実現

実現済

2024

486億円

未実現

実現済

2025Q3

IV号

今後

源泉

実現キャリドインタレストが  
生み出され、PL上で収益認識

Exitによる  
回収

PLへ

未実現CI

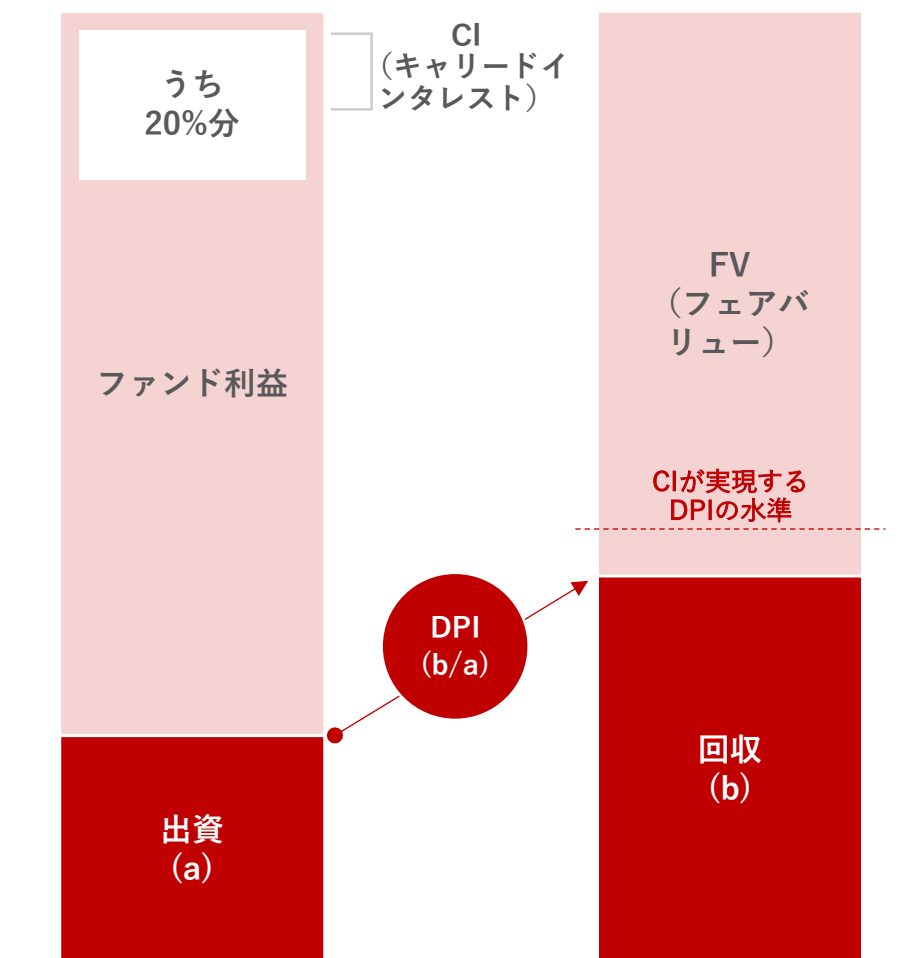
うち実現CI

決算短信5ページでも主要なKPIとして開示

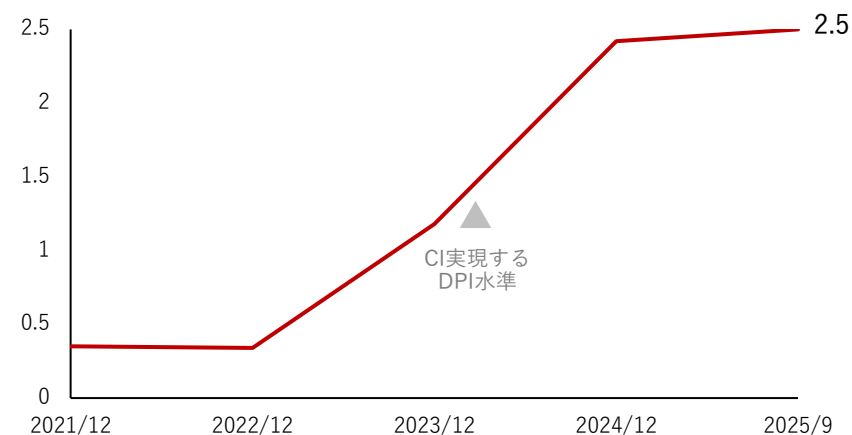
(億円)	2023/12	2024/12	2025/9
AUM	2,250	2,885	5,746
...			
未実現キャリド インタレスト			
2号ファンドシリーズ	20	6	9
3号ファンドシリーズ	144	80	97
4号ファンドシリーズ	53	150	166

## 第二の柱④ キャリートインタレストの先行指標（DPI）

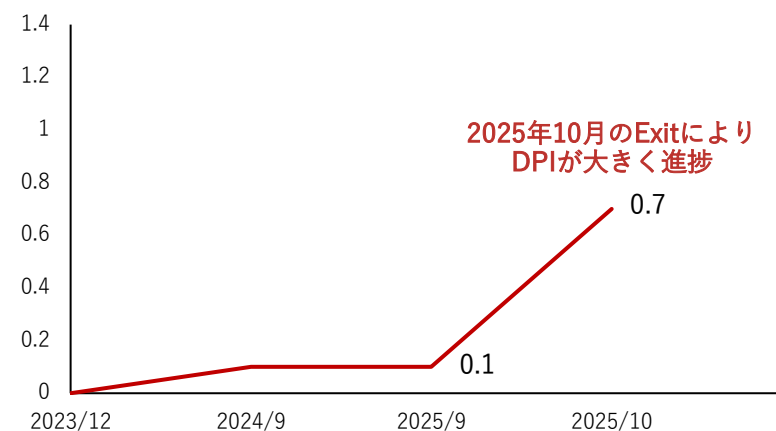
DPI (Distribution to Paid-In Capital)が先行指標に



3号シリーズ<sup>1</sup>



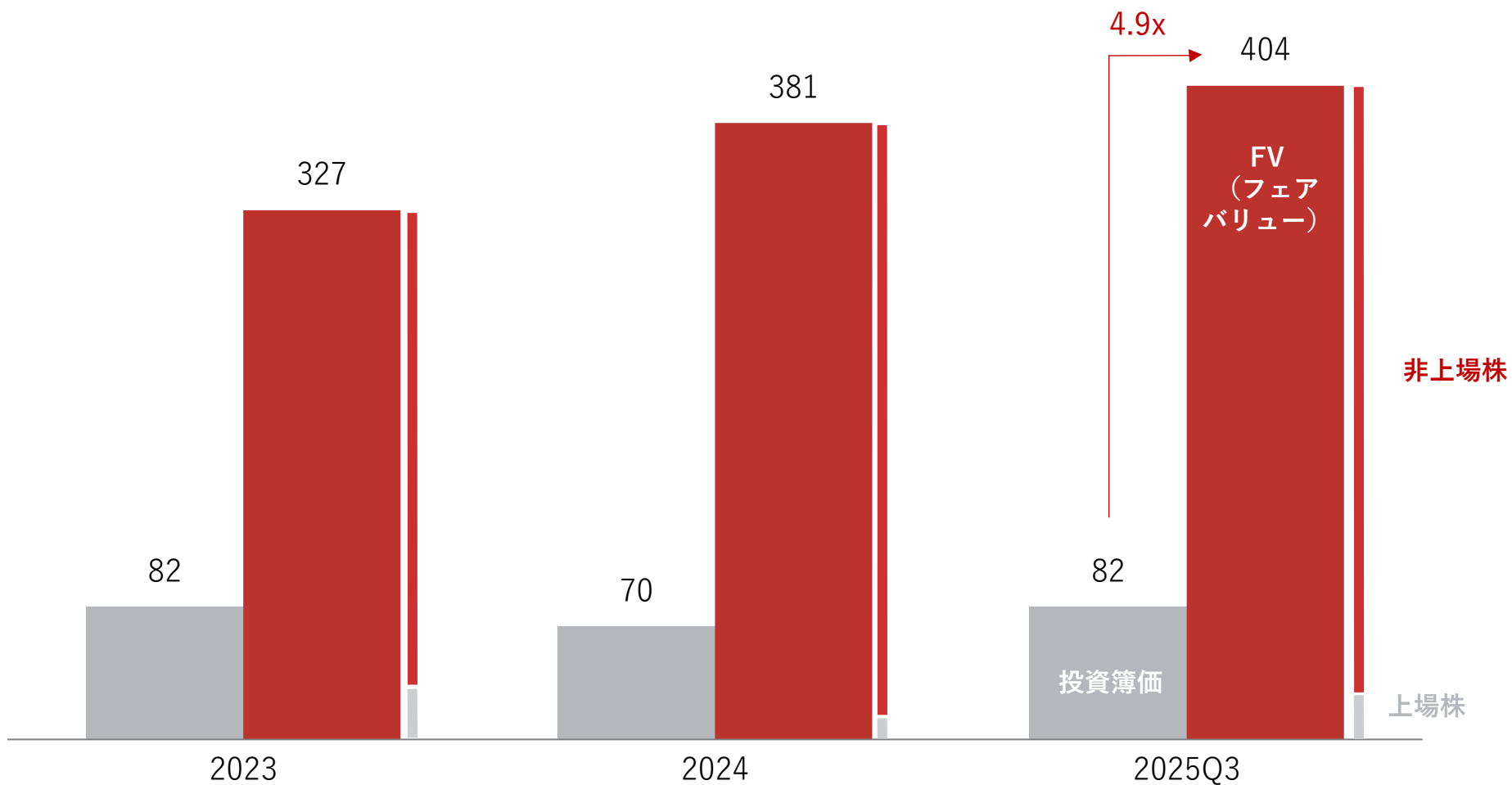
4号シリーズ



1. 支払済のCI（キャリートインタレスト）を考慮する前のDPI数値

### 第三の柱 外部環境の変化等によりFVにインパクト

(億円)



## Q1～Q3の総括（現在まで）

1 — 投資及びExit活動が活発：新規投資5件、投資回収2件

2 — 5号ファンドシリーズの運用開始によりリカーリング収益の  
受取管理報酬が大幅に増加

3 — マルチアセット展開も着実に進捗：  
不動産投資事業は投資活動が進捗。収益貢献も開始  
グローバルテック・グロース投資事業は2件の投資を実行

# Appendix



1

インテグラルについて



# 当社パートナー・CFO



**山本 礼二郎**

代表取締役パートナー / 創業メンバー



**佐山 展生**

パートナー / 創業メンバー



**辺見 芳弘**

取締役パートナー / 創業メンバー



**水谷 謙作**

取締役パートナー / 創業メンバー



**早瀬 真紀子**

取締役パートナー



**二井矢 聡子**

パートナー（弁護士）



**後藤 英恒**

パートナー



**山崎 壮**

パートナー



**西岡 成浩**

パートナー



**澄川 恭章**

CFO&コントローラー（公認会計士）

# 不動産投資ファンドのパートナー



**江村 峻徳**

インテグラル・リアルエステート株式会社  
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- ミリア・レジデンシャル
- イデラキャピタルマネジメント
- アーバン・アセットマネジメント



**中井 宏典**

インテグラル・リアルエステート株式会社  
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- CBREインベストメントマネジメント
- 東京海上アセットマネジメント
- ヒューリック
- K J R マネジメント
- 東急



**中原 健佑**

インテグラル・リアルエステート株式会社  
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- オリックス
- キャピタランド・ジャパン
- M&G Real Estate Japan
- Phoenix Property Investors Japan




























































**住谷 智宏**

インテグラル・リアルエステート株式会社  
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- ブラックストーン・グループ
- 大和証券SMBC

# 投資・Exit実績

1号投資 実行	<div><div> Yohji Yamamoto</div><div> SHICATA CO.</div><div> アパマンショップ</div></div>																		
2号投資 実行	<div><div></div><div><div>  </div><div> </div><div>  </div></div></div>																		
3号投資 実行	<div><div> </div><div><div> </div><div>  </div><div> サンデンリサーチシステム株式会社</div><div></div></div></div>																		
4号投資 実行	<div><div> </div><div>  </div><div> </div><div></div><div> </div></div>																		
5号投資 実行	<div>  </div>																		
	2008	2009	2010	2011/ 2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025		
エグジット										<div>   </div>		<div> (部分Exit)</div>		<div> (部分Exit)</div>	<div>   (部分Exit)</div>	<div>     (部分Exit)</div>	<div> (部分Exit)</div>	<div> (部分Exit)</div>	

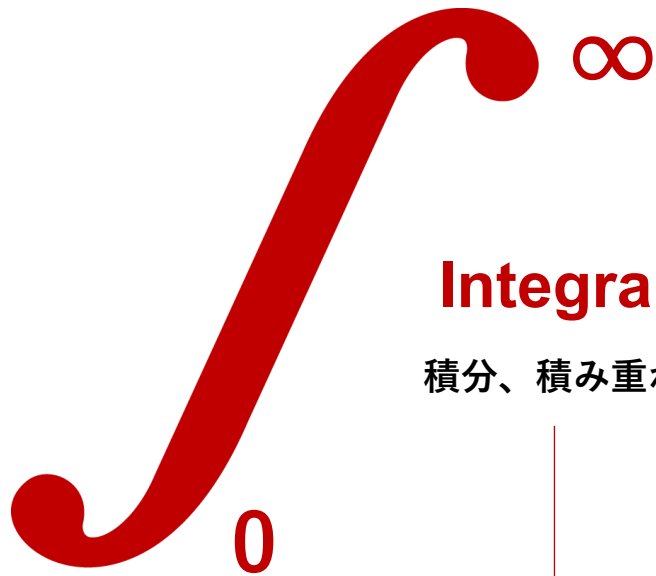


2

インテグラルの特徴

# Our Mission

我々のミッション



## Integral

積分、積み重ね

ハートのある信頼関係と  
最高の英知の積み重ね



## Trusted Investor

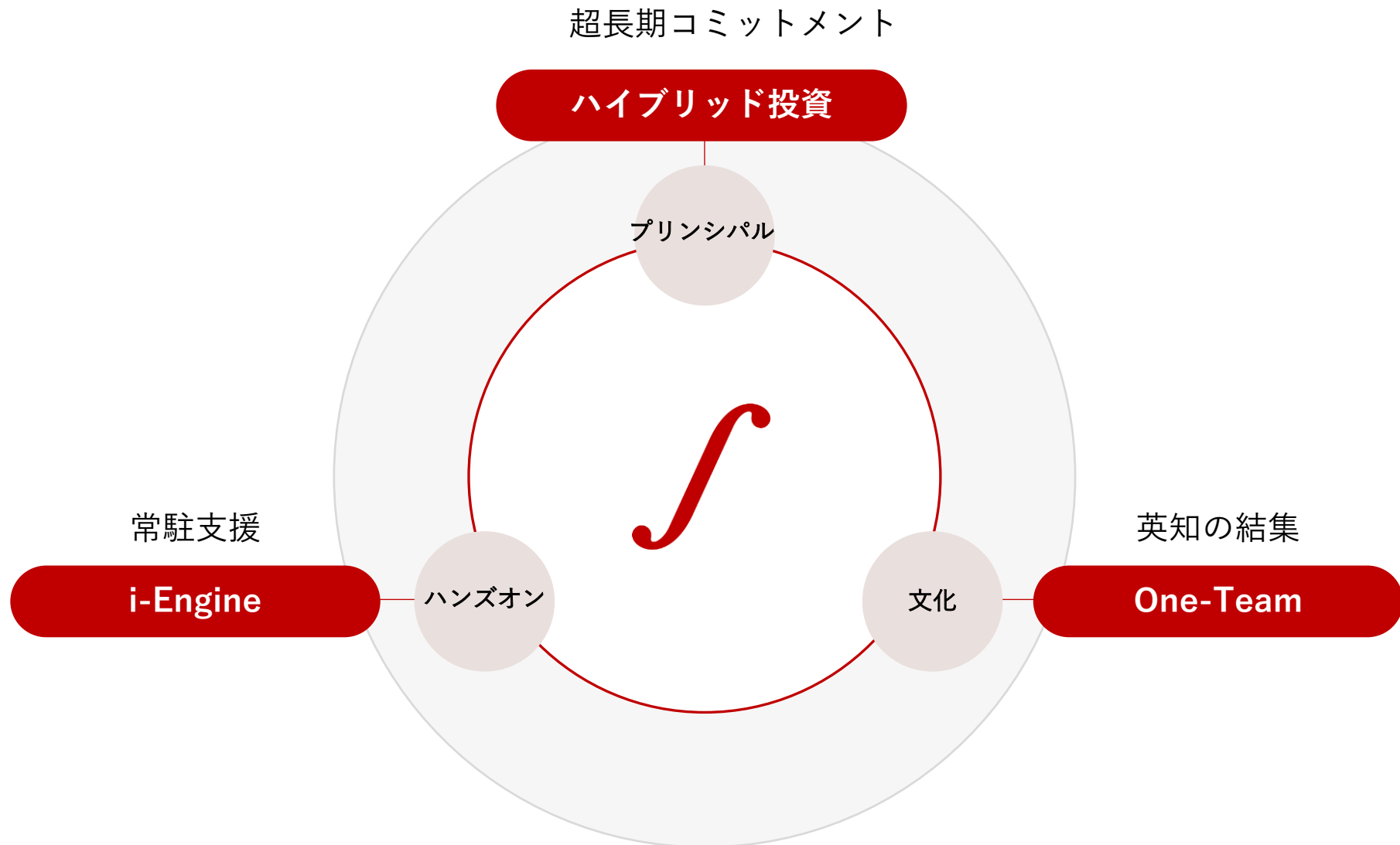
信頼できる資本家

経営と同じ目線・  
時間軸



世界に通用する  
日本型の企業改革を  
実現

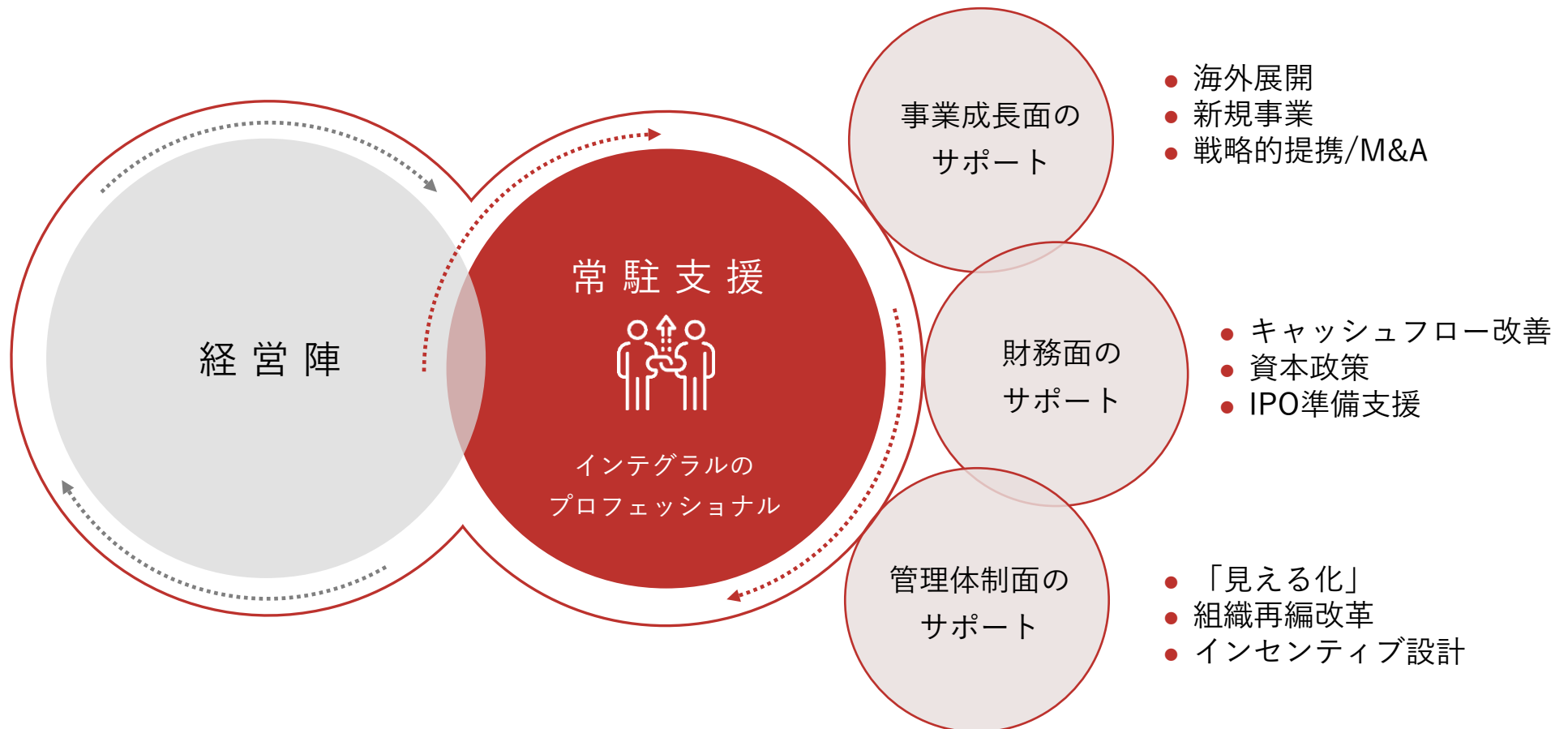
# なぜインテグラルが差別化されているか





# i-Engine とは

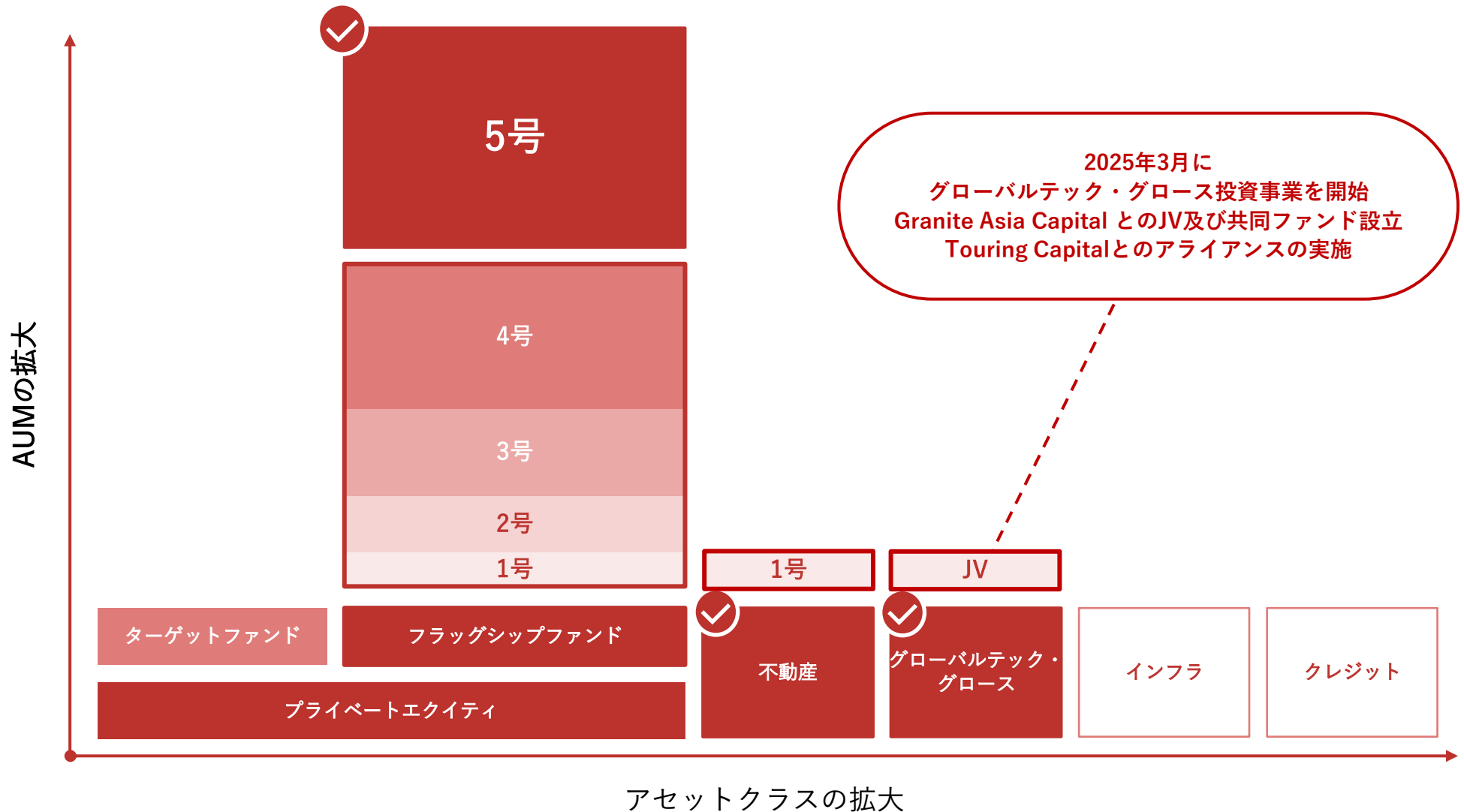
投資プロフェッショナルが常駐でハンズオン支援することで  
社内体制強化を迅速かつシームレスに実行



2

## 成長戦略

# マルチアセット化の更なる推進



4

チャンスに満ちたビジネス機会

# 日本には広大なアップサイドが存在

⇒ ファンドの資金調達サイド

GDP全体に占めるPE関与割合

Japan

0.4%

United States

1.3%

United Kingdom

1.9%

Germany

0.7%

日本はユニークであり  
需要と供給の  
両方が成長へ

オルタナティブ資産への投資割合

GPIF (Japan)

1.5%

PFA for Local Govt.  
(Japan)

1.0%

Federation of  
municipalities (Japan)

1.0%

GPF (Norway)

1.8%

NPS (South Korea)

15.8%

CalPERS (US)

27.6%

CPPIB (Canada)

58.0%

NSSF (China)

14.0%

CalSTRS (US)

46.9%

⇒ ファンドの投資サイド

# なぜ今が好機なのか？

## 事業承継

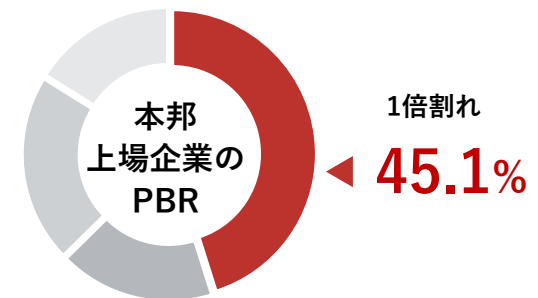
中小企業経営者の  
70歳以上比率

25.5%

直近5年間の  
事業承継M&Aの  
増加率

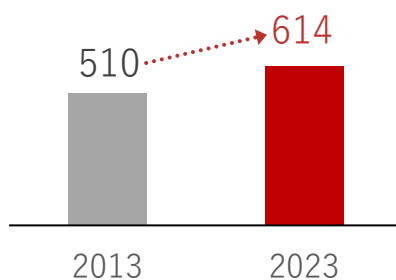
約2.4x

## 割安な株価評価

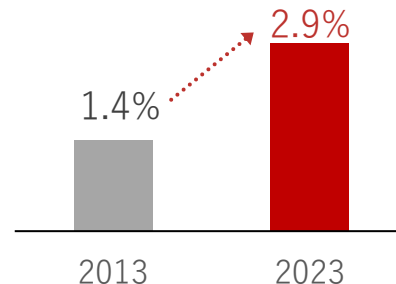


## カーブアウト

カーブアウト案件数



うち、  
PEファンド関与比率



## アクティビズム

アクティビスト・  
機関投資家による提案件数



同意なきTOBの件数

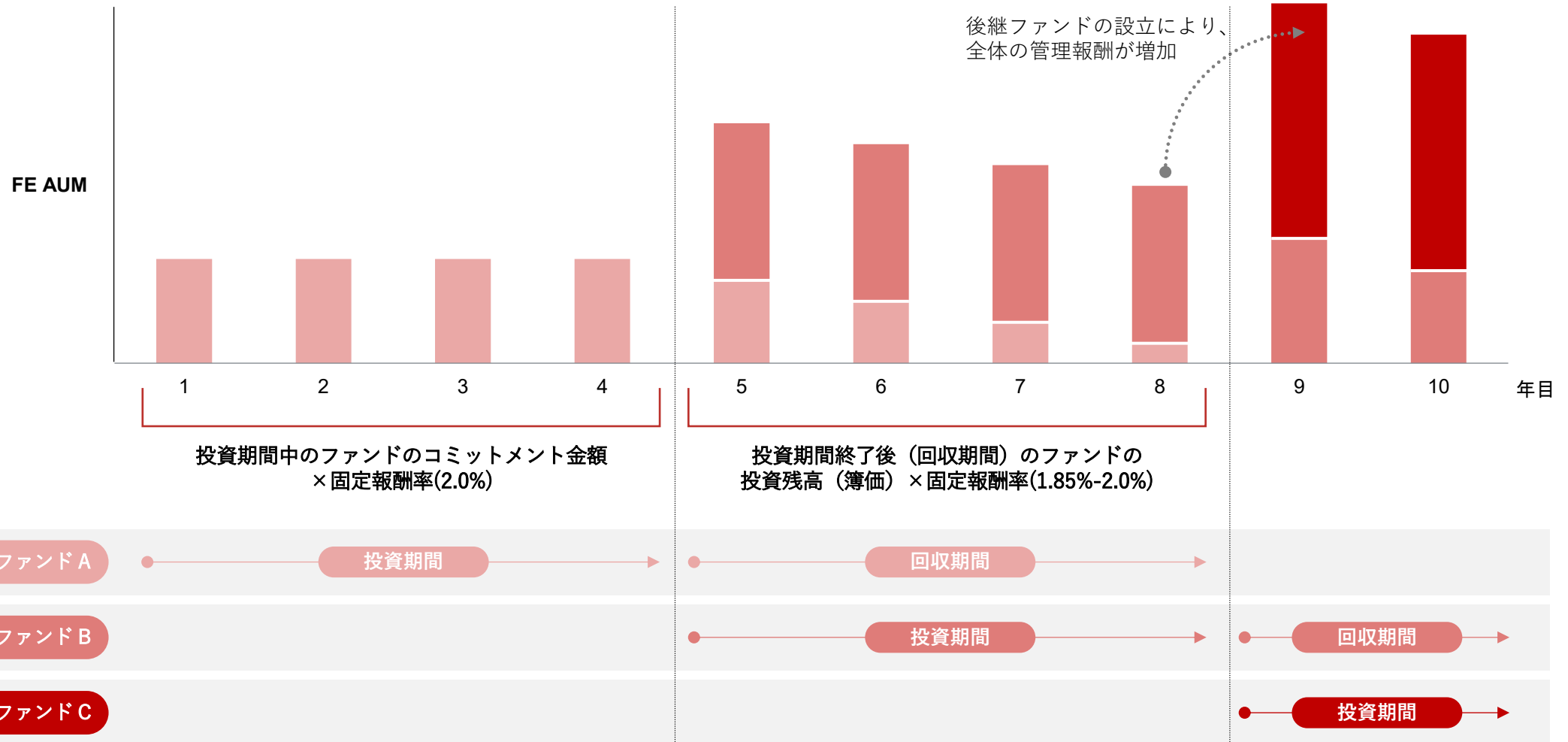


5

## インテグラルの事業モデル

# 管理報酬が、企業価値向上の礎に

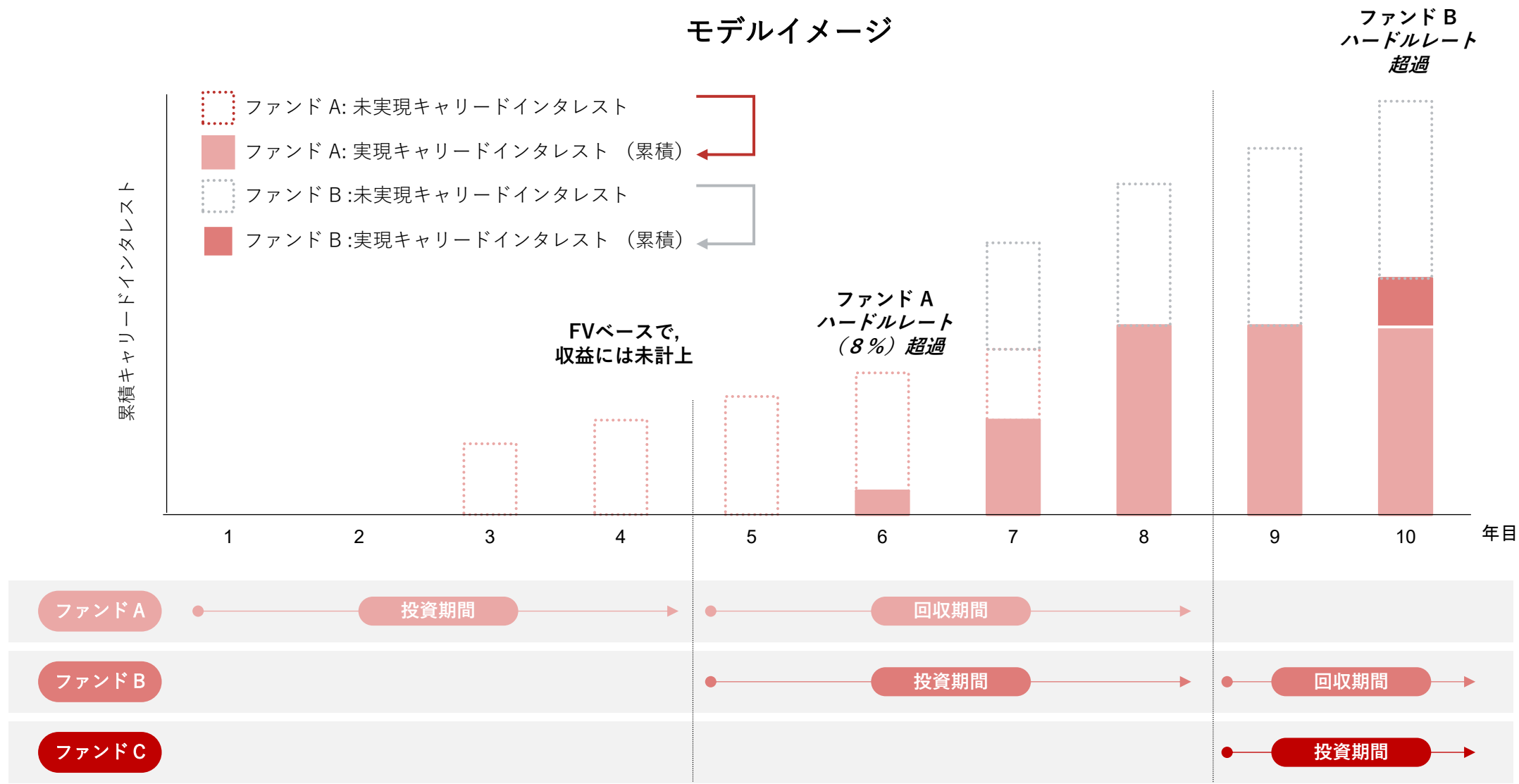
## モデルイメージ<sup>1</sup>



1. 前提条件：4年ごとに次号Fundを設立し、次号Fund毎にファンドサイズが1.5倍増加した場合の想定



# ハードルレートを超えると、キャリドインタレストが実現



# キャリードインタレストの高い投資効率

## リターンに関するモデルイメージ<sup>1</sup>

想定	投資額 (LP+GP)	100億円	GPコミットメント	2%
	投資期間	4年	ハードルレート	8%
	投資回収額	250億円	ハードル投資利益	36億円

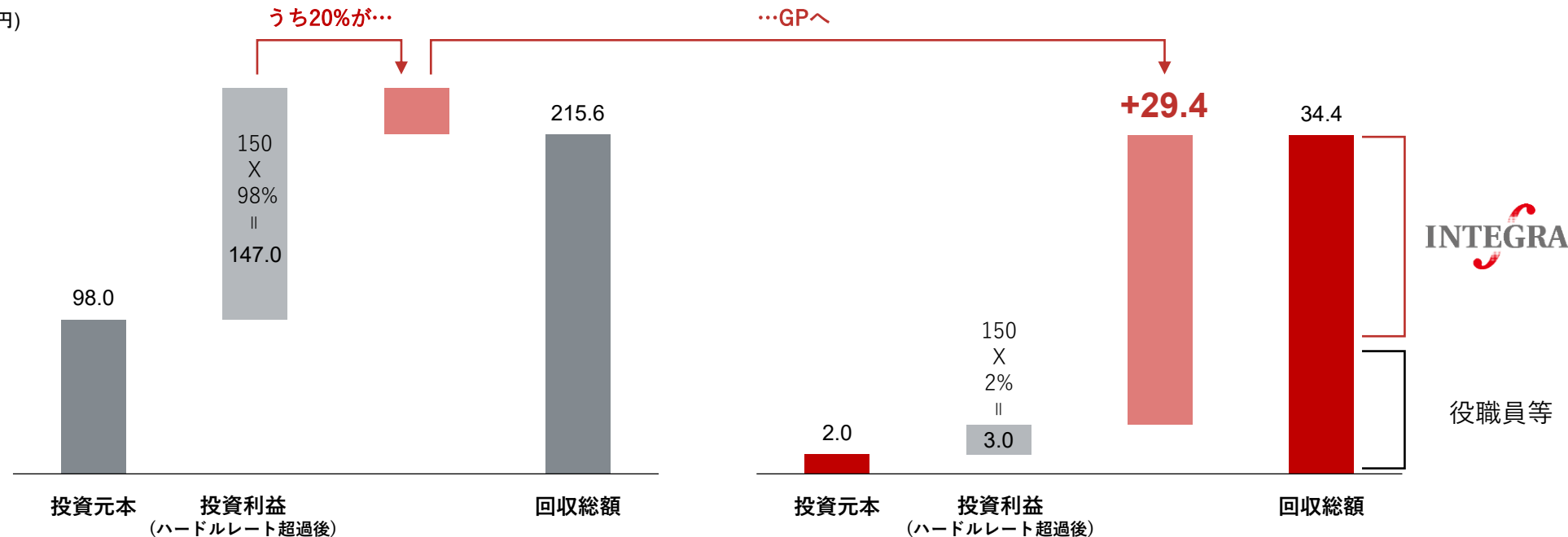
LPのリターン

**MOIC<sup>1</sup> 2.2x: IRR<sup>1</sup> 21.8%**

GPのリターン

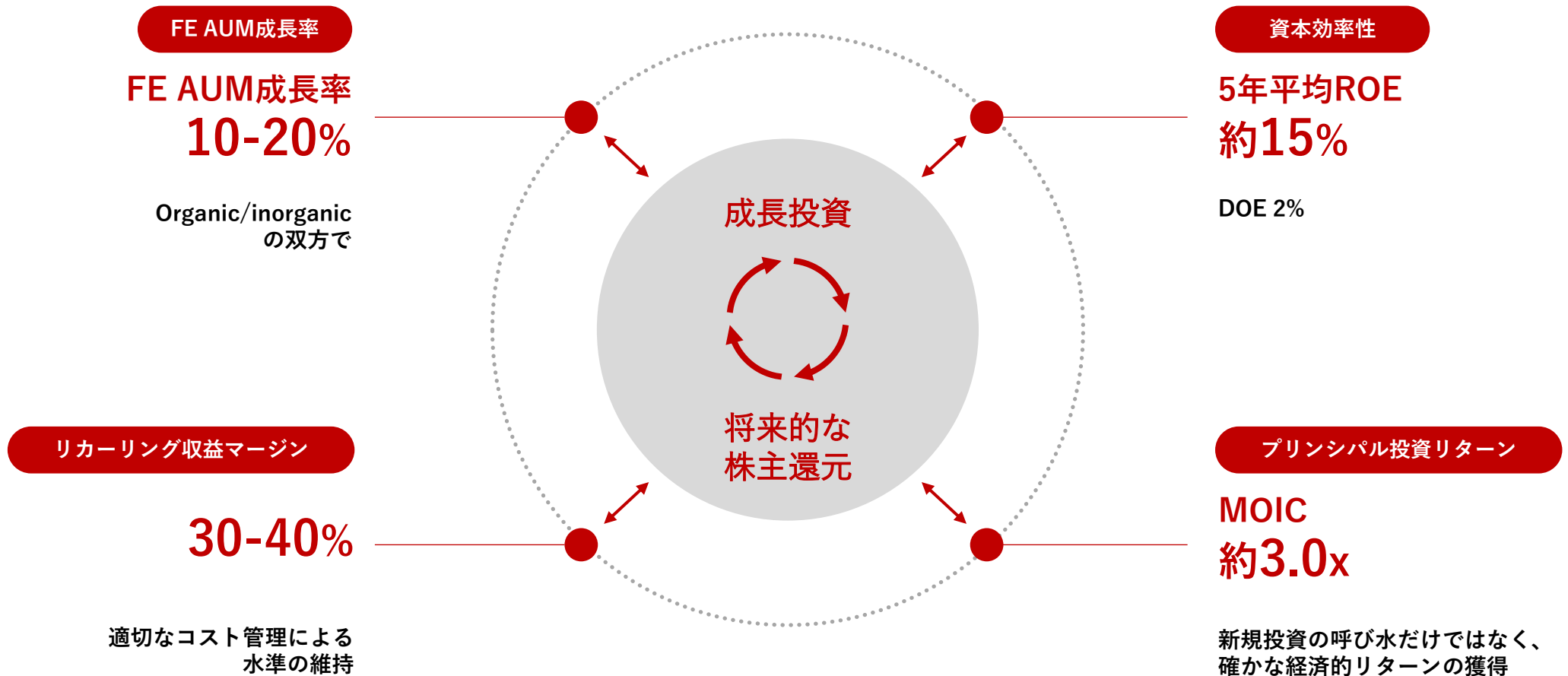
**MOIC<sup>1</sup> 17.2x: IRR<sup>1</sup> 103.6%**

(億円)



1. 上記の前提に基づき算出されたNet MOIC / IRRを指す。Net MOIC / IRRとはそれぞれ、案件への投資実行額に対する、当該案件の回収額(未実現のキャリードインタレストを含まない。)から諸費用を控除したリターンに基づく割合と内部収益率を指す

# ターゲットしていく各KPI



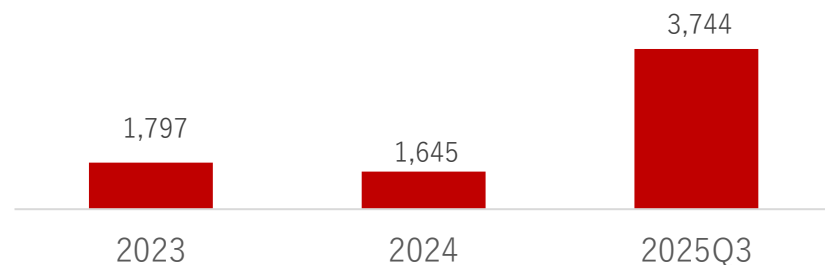
6

財務数値

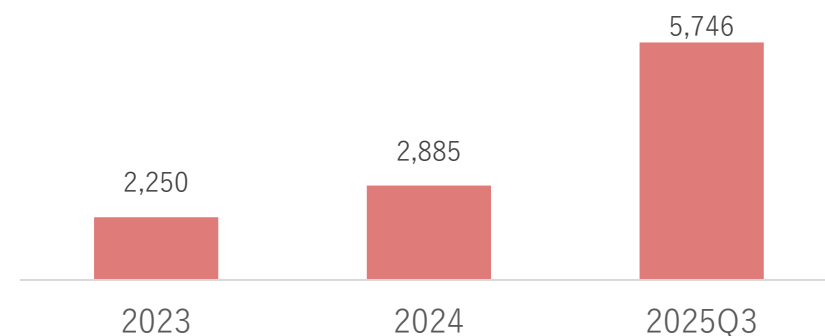
# FE-AUM、AUM、ファンドFV

(億円)

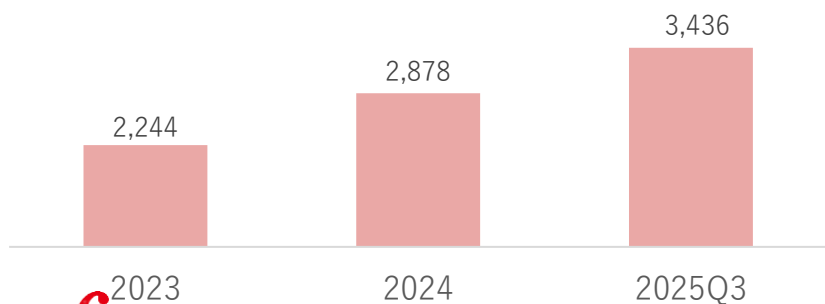
## FE-AUM<sup>1</sup>



## AUM



## ファンドFV



(投資期間中のファンド)  
5号ファンドシリーズの出資約束金額

+

(投資期間終了後のファンド)  
2・3・4号ファンドシリーズの投資残高

FE-AUM<sup>1</sup>

(投資期間中のファンド)  
5号ファンドシリーズの出資約束金額  
又は 投資ポートフォリオのFair Value  
のいずれか大きい金額

+

(投資期間終了後のファンド)  
2・3・4号ファンドシリーズの Fair value

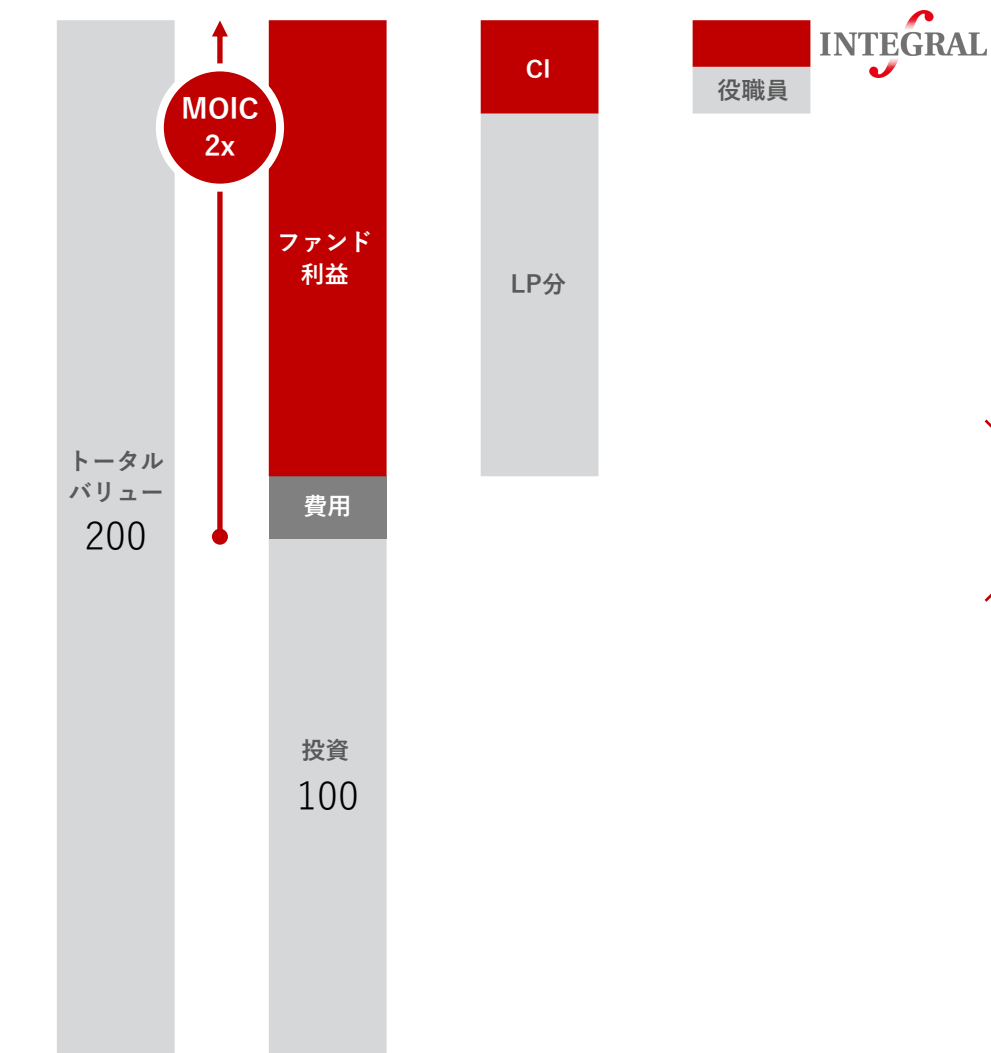
AUM

2・3・4・5号ファンドシリーズの投資中案件のFair Value

# ファンド毎の未実現CI

(億円)

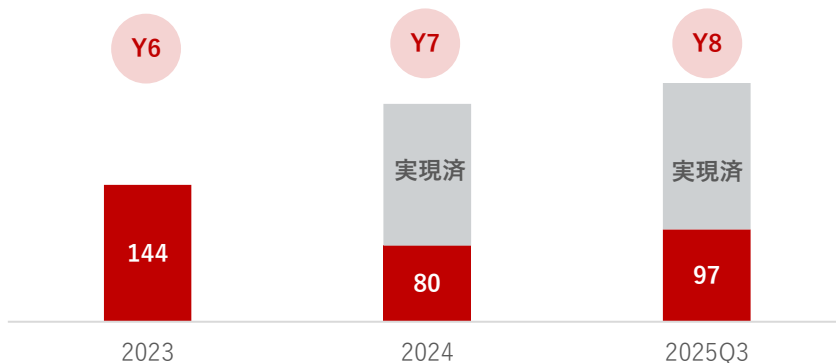
フレームワーク: MOICがCIの大きさに直結



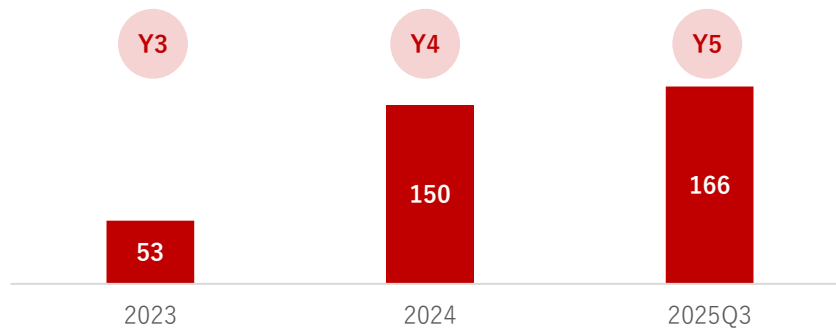
2号シリーズ



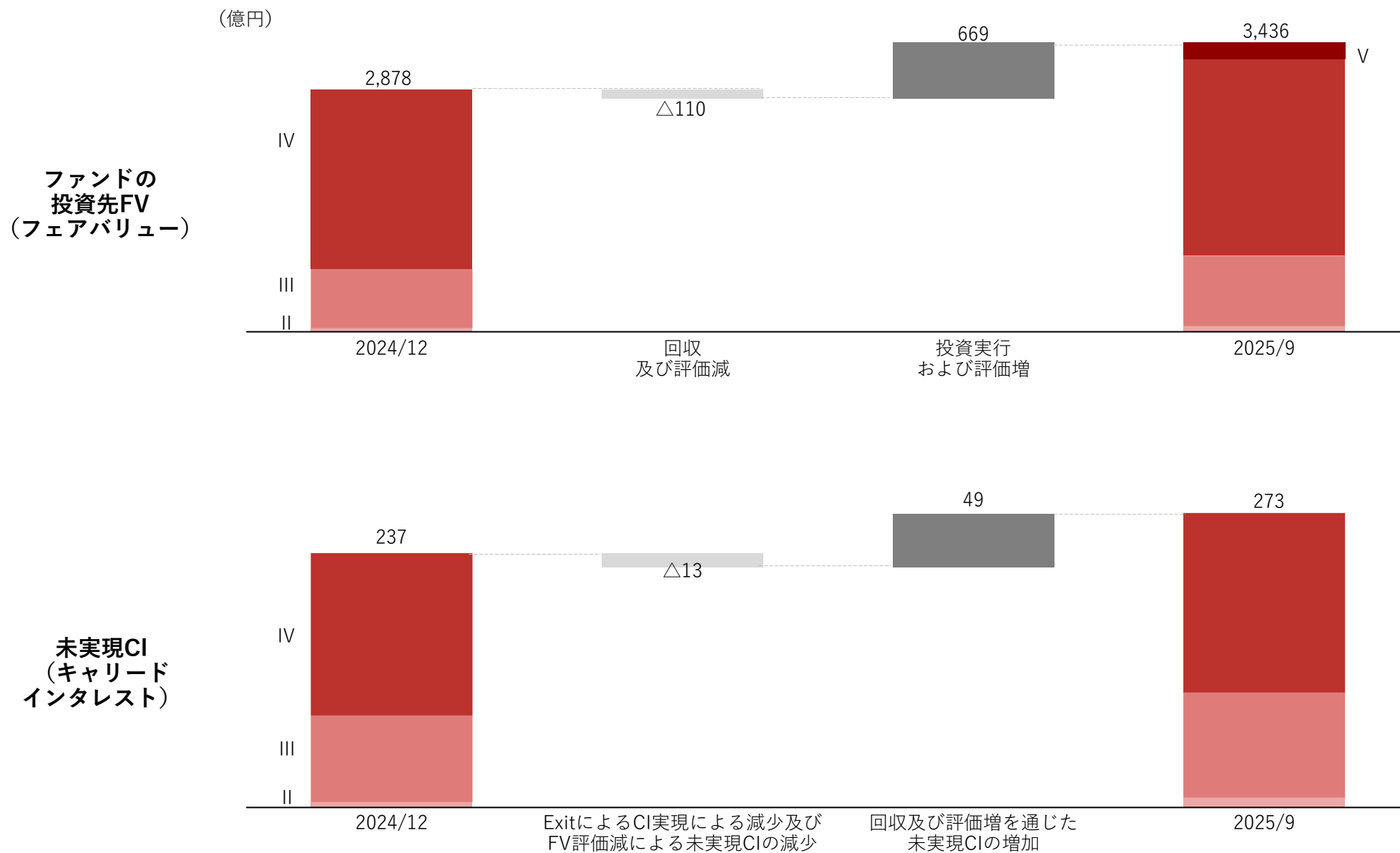
3号シリーズ



4号シリーズ



# FVおよび未実現CI

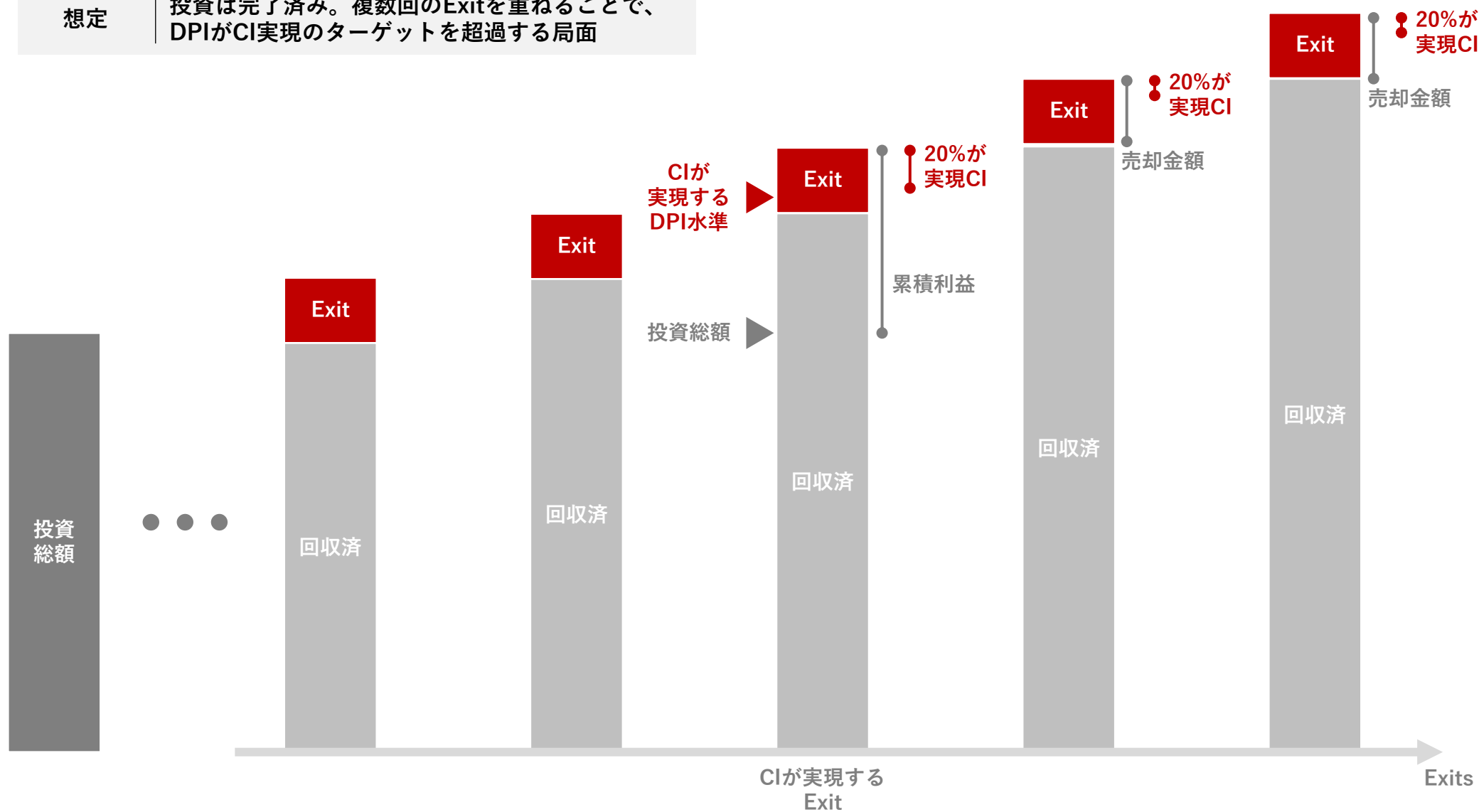


# DPIとCI実現

## 1ファンドにおけるモデルイメージ

想定

投資は完了済み。複数回のExitを重ねることで、DPIがCI実現のターゲットを超過する局面





# 主要財務数値

## 連結損益計算書

	(百万円)		
	2024年12月期 Q3	2025年12月期 Q3	2024年12月期 通期
投資売却による実現利益（損失）	-	0	1,200
ポートフォリオへの投資の公正価値変動	2,015	777	2,219
公正価値で評価している子会社の公正価値変動	5,610	914	7,187
その他の投資収益	23	45	26
投資ポートフォリオからの受取利息	-	32	-
投資収益総額	7,649	1,770	10,633
受取管理報酬	2,645	5,567	3,494
キャリードインタレスト	6,911	1,364	16,849
経営支援料	178	233	250
その他の営業収益	1	2	2
収益	17,387	8,939	31,230
人件費	1,842	2,128	2,731
その他販管費	2,065	1,051	2,480
営業費用	△3,908	△3,179	△5,212
営業利益（損失）	13,478	5,760	26,017
金融収益	153	236	225
金融費用	△182	△221	257
税引前利益（損失）	13,450	5,774	25,985
税金費用	△4,105	△2,127	△7,879
当期（四半期）利益（損失）	9,344	3,646	18,105

# 主要財務数値

## 連結財政状態計算書

	前連結会計期間 (2024年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	22,137	15,029
営業債権及びその他の債権	10,779	1,721
未収法人所得税	1	1,644
その他の短期金融資産	1	1
その他の流動資産	149	160
流動資産合計	33,070	18,556
非流動資産		
投資	42,730	57,426
ポートフォリオへの投資	7,534	12,045
公正価値で評価している 子会社への投資	35,196	45,380
有形固定資産	178	199
使用権資産	420	593
無形資産	1	0
貸付金	2,387	2,104
公正価値で評価している子会社への貸付	-	260
その他の長期金融資産	260	262
その他の非流動資産	-	1
非流動資産合計	45,979	60,849
資産合計	79,050	79,406

	前当連結会計期間 (2024年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債及び資本</b>		
<b>負債</b>		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	897	329
未払法人所得税	4,612	2
未払消費税	29	193
前受金	1,406	2,556
借入金	759	-
公正価値で評価している子会社からの借入金	-	1,200
リース負債	111	229
賞与引当金	258	336
その他の流動負債	119	115
流動負債合計	8,195	4,963
非流動負債		
借入金	2,389	2,104
リース負債	153	245
資産除去債務	212	212
繰延税金負債	10,465	11,883
非流動負債合計	13,220	14,446
負債合計	21,415	19,410
<b>資本</b>		
資本金	7,634	7,634
資本剰余金	6,421	6,454
利益剰余金	43,574	45,909
新株予約権	0	0
自己株式	△6	△5
親会社の所有者に帰属 する持分合計	57,624	59,992
被支配持分	9	3
資本合計	57,634	59,996
負債及び資本合計	79,050	79,406

# 主要財務数値

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	前第3四半期 連結会計期間 (2024年9月30日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年9月30日)	前連結会計期間 (2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前利益(△は損失)	13,450	5,774	25,985
減価償却費及び償却費	138	266	205
受取利息及び受取配当金	△177	△314	△251
支払利息	180	221	255
引当金の増減額 (△は減少)	208	78	191
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,918	9,058	△10,573
ポートフォリオへの投資の増減額 (△は増加)	256	△4,511	933
公正価値で評価する子会社への投資の増減額 (△は増加)	△5,676	△10,184	△7,259
貸付金の増減額 (△は増加)	△2,255	440	△2,220
公正価値で評価する子会社への貸付金の増減額 (△は増加) その他の資産の増減額 (△は増加)	—	△260	—
その他の金融資産の増減額 (△は増加)	37	△0	37
その他の資産の増減額 (△は増加)	△14	△79	△6
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△256	△498	56
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3	163	△7
前受金の増減額 (△は減少)	855	1,149	791
その他の負債の増減額 (△は減少)	△33	△4	△0
その他	0	△0	△0
小計	4,790	1,300	8,138
利息及び配当金の受取額	25	222	27
利息の支払額	△62	△134	△63
法人所得税の支払額及び還付額 (△は支払い)	△2,233	△6,960	△2,284
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,519	△5,572	5,818

(百万円)

	当第3四半期連結 会計期間 (2024年9月30日)	当第3四半期連結 会計期間 (2025年9月30日)	当連結会計期間 (2024年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△0	△83	△11
敷金及び保証金の差入れによる支出	△91	—	△91
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91	△83	△102

(百万円)

	前第3四半期 連結会計期間 (2024年9月30日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年9月30日)	当連結会計期間 (2024年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー			
公正価値で評価している子会社からの借入れによる収入	—	2,700	—
公正価値で評価している子会社からの借入金の返済による支出	△3,500	△1,500	△3,500
借入れによる収入	2,255	—	2,255
借入金の返済による支出	△780	△1,201	△780
リース負債の返済による支出	△106	△166	△141
自己株式の売却による収入	20	32	52
自己株式の売却による支出	△0	—	△0
配当金の支払額	△371	△1,317	△398
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,481	△1,452	△2,501

# 用語集

本資料における用語	用語の内容
AUM (Asset Under Management)	運用資産残高。投資期間中のファンド又は投資期間の定めのないファンドは出資約束金額又は 投資ポートフォリオのFair Valueいずれか大きい金額により、投資期間終了後のファンドは投資ポートフォリオのFVにより集計
FE AUM (Fee Earning AUM)	投資期間中のファンド又は投資期間の定めのないファンドは出資約束金額により、投資期間終了後のファンドは投資ポートフォリオの取得原価残高により集計
MOIC (Multiple Of Invested Capital)	各ファンドシリーズにおける各投資案件への投資実行総額に対する総回収額及び未回収の投資先企業のFVの合計の割合
IRR (Internal Rate of Return)	投資案件に対するリターンを年率換算した収益率
プリンシパル投資	LPから集めてきたファンド資金によるファンド経由の投資(ファンド投資)ではなく、当社グループ自己資金による投資
管理報酬	ファンド運営の対価として当社グループが四半期ごとにファンドより受領する金額。投資期間中のファンド又は投資期間の定めのないファンドは出資約束金額、投資期間終了後のファンドは投資ポートフォリオの取得原価残高を基礎として報酬料率(年率1.85%~2.00%)を乗じた金額。
経営支援料	投資先企業より当社グループが受領する経営支援に対する対価
リカーリング収益	管理報酬と経営支援料の合計であり、当社グループが安定的に受領することが期待できる収益
GP (General Partner)	ファンドの運用に対して無限責任を負う組合員を意味し、ファンドの運用者である当社グループを指す
LP (Limited Partner)	ファンドの運用に関する権限を持たず、その責任はファンドに出資した金額を上限とする組合員を意味し、当社グループが運用するファンドの投資家を指す
ハードルレート	組合契約上で定められるファンドの投資家への優先分配を定めた割合。現行のファンドシリーズにおいては出資履行金額に対して年率8%(当社グループはGPとして、当該割合を超過後にキャリードインタレストを受領する権利が発生)
i-Engine	当社グループによるハンズオン型経営支援の呼称
DPI (Distributions to Paid-In capital)	ファンドの投資家による累計出資金額に対する投資家への累計分配金額の割合
キャリードインタレスト(CI)	ファンドがハードルレートを上回る分配を行った場合に当社グループが受領出来る分配額であり、ファンド利益累計額の20%から既に受領済のキャリードインタレストを控除した金額
未実現キャリードインタレスト	各四半期時点で投資先企業をその時点のFVで売却したと仮定した場合に当社グループが受領することが出来ると見込まれるキャリードインタレストの金額より既に実現済のキャリードインタレストを除外した金額(役職員によるGP出資分を除いた当社グループ取得見込み金額)
UCAT (Unrealized Carried Interest After Tax)	未実現キャリードインタレストから実効税率に基づく実現時の想定税金額を控除した金額
経済収益ベース純資産	連結財政状態計算書の「親会社の所有者に帰属する持分合計」とUCATの合計金額であり、未実現キャリードインタレストが実現したと仮定した場合に想定される資本の金額

**INTEGRAL**

A stylized red integral symbol ( $\int$ ) is positioned over the word "INTEGRAL". The symbol is rendered in a vibrant red color with a subtle gradient and a slight shadow, giving it a three-dimensional appearance. It is centered vertically and horizontally over the word.